

(様式第 10)

長大病総第 1118 号
令和 3 年 10 月 1 日

厚生労働大臣

殿

開設者 国立大学法人 長崎大学長

河野 茂

長崎大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 第 1 項及び医療法施行規則（昭和 23 年厚生省令第 50 号）第 9 条の 2 の 2 の第 1 項の規定に基づき、令和 2 年度の業務に関して報告します。
記

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒852-8521 長崎市文教町 1-14
氏 名	国立大学法人 長崎大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名 称

長崎大学病院

3 所在の場所

〒852-8501 長崎市坂本 1 丁目 7 番 1 号	電話(095)819-7200
---------------------------------	-----------------

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

<input checked="" type="checkbox"/> 1 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜 <input type="checkbox"/> 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	(有) ・ 無
内科と組み合わせた診療科名等	
<input checked="" type="checkbox"/> 1 呼吸器内科 <input checked="" type="checkbox"/> 2 消化器内科 <input checked="" type="checkbox"/> 3 循環器内科 <input checked="" type="checkbox"/> 4 腎臓内科	
<input checked="" type="checkbox"/> 5 神経内科 <input checked="" type="checkbox"/> 6 血液内科 7 内分泌内科 8 代謝内科	
<input checked="" type="checkbox"/> 9 感染症内科 10 アレルギー疾患内科またはアレルギー科 <input checked="" type="checkbox"/> 11 ウマチ科	
診療実績	
内分泌内科及び代謝内科については内分泌・代謝内科で対応している。 アレルギー疾患については皮膚科等で対応している。	

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

(2) 外科

外科	(有) ・ 無
外科と組み合わせた診療科名	
(1)呼吸器外科 (2)消化器外科 3乳腺外科 4心臓外科 5血管外科 (6)心臓血管外科 7内分泌外科 (8)小児外科	
診療実績	
乳腺外科及び内分泌外科については、乳腺・内分泌外科で対応している。	

- (注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。
 2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること（「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと）。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

(1)精神科 (2)小児科 (3)整形外科 (4)脳神経外科 (5)皮膚科 6泌尿器科 (7)産婦人科
8産科 9婦人科 (10)眼科 (11)耳鼻咽喉科 (12)放射線科 13放射線診断科
14放射線治療科 (15)麻酔科 (16)救急科

(注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科	(有) ・ 無
歯科と組み合わせた診療科名	
(1)小児歯科 (2)矯正歯科 3口腔外科	
歯科の診療体制	

- (注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。
 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1泌尿器科・腎移植外科 2形成外科 3内分泌・代謝内科 4乳腺・内分泌外科 5病理診断科
6移植外科 7脳神経内科 8胃・食道外科 9大腸・肛門外科 10肝胆膵外科・肝移植外科
11リハビリテーション科 12臨床検査科 13歯科口腔外科 14 15
16 17 18 19 20 21

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
39床	2床	6床	0床	827床	874床

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	600人	19人	606.9人	看護補助者	61人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	137人	13人	145.9人	理学療法士	25人	臨床検査技師	85人
薬 剤 師	58人	0人	58人	作業療法士	9人	衛生検査技師	0人
保健師	0人	0人	0人	視能訓練士	10人	その他	1人
助産師	44人	0人	44人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	900人	6人	903.5人	臨床工学士	25人	医療社会事業従事者	11人
准看護師	0人	0人	0人	栄 養 士	2人	その他の技術員	45人
歯科衛生士	17人	0人	17人	歯科技工士	5人	事務職員	347人
管理栄養士	15人	0人	15人	診療放射線技師	47人	その他の職員	5人

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

専門医名	人 数	専門医名	人 数
総合内科専門医	62人	眼科専門医	16.09人
外科専門医	53人	耳鼻咽喉科専門医	13人
精神科専門医	10人	放射線科専門医	26.8人
小児科専門医	22人	脳神経外科専門医	13人
皮膚科専門医	8人	整形外科専門医	26人
泌尿器科専門医	12.77人	麻酔科専門医	23人
産婦人科専門医	37.04人	救急科専門医	12.2人
		合 計	334人

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 (中尾一彦) 任命年月日 平成31年4月1日

- ・安全管理部長 (平成31年1月1日～平成31年3月31日)
- ・医療安全管理委員会 (医療安全に関する委員会) 委員長 (平成31年4月1日～継続中)

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	615.8人	11.7人	627.5人
1日当たり平均外来患者数	1,234.0人	351.7人	1,585.8人
1日当たり平均調剤数			2869 剤
必要医師数			138.675 人
必要歯科医師数			19.048 人
必要薬剤師数			35.863 人
必要(准)看護師数			366.607 人

- (注)1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備	概要		
集中治療室	405.55m ²	鉄筋コンクリート	病床数	20床	心電計	(有)・無
			人工呼吸装置	(有)・無	心細動除去装置	(有)・無
			その他の救急生装置	(有)・無	ペースメーカー	(有)・無
無菌病室等	[固定式の場合] 床面積 498.2 m ² [移動式の場合] 台数 台			病床数 50床		
医薬品情報管理室	[専用室の場合] 床積 136.1 m ² [共用室の場合] 共用する室名					
化学検査室	243.6m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 全自動生化学分析装置、血液ガス分析装置、全自動糖分析装置、自動グリコヘモグロビン分析計、全自動キャピラリー電気泳動装置、全自動免疫分析装置、全自動血液凝固測定装置、多項目自動血球分析装置、塗抹標本作成装置			
細菌検査室	185.0m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 微生物検体処理システム、質量分析装置、全自動血液培養測定装置、全自動同定感受性検査装置、安全キャビネット、光学顕微鏡			
病理検査室	343 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 密閉式自動包埋装置、自動染色装置、自動免疫染色装置、局所廃棄装置切り出し台、局所廃棄装置付検体保管庫、安全キャビネット、バーチャルスライド、スマートセクション等			
病理解剖室	63.3 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 解剖台、高圧滅菌装置、ホルマリン希釈装置、臓器乾燥装置、遺体保存冷蔵庫、教育用カメラシステム等			
研究室	3,343 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 安全キャビネット、電子顕微鏡、自動血液培養装置、質量分析装置等			
講義室	第3講義室 172 m ² 第4講義室 389 m ²	鉄筋コンクリート	室数 2 室	収容定員 第3講義室 150 人 第4講義室 270 人		
図書室	142m ²		室数 1 室	蔵書数 14,570冊程度		

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。
- 2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11. 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率	82.3 %	逆紹介率	58.6 %
算出根拠	A: 紹介患者の数		14,484 人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		11,435 人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数		1,573 人
	D: 初診の患者の数		19,519 人

(注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12. 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由 (注)

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
後 信	九州大学病院 医療安全管理部 部長	○	医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者	有 (無)	1
川添 志	山下・川添総合 法律事務所 弁護士		医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者	有 (無)	1
飯田 由紀 子			医療を受ける者その他の医療従事者以外の者	有 (無)	2

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1~3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者 (1.に掲げる者を除く。)
3. その他

13. 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	(有)・無
委員の選定理由の公表の有無	(有)・無
公表の方法 病院ホームページで公表	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術	2人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示 第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
ペメトレキセド静脈内投与及びシスプラチン静脈内投与の併用療法肺癌(扁平上皮肺癌を除き、病理学的見地から完全に切除されたと判断されたものに限る。)	0人
ハイパードライヒト乾燥羊膜を用いた外科的再建術	0人
ニボルマブ静脈内投与及びドセタキセル静脈内投与の併用療法 進行再発非小細胞肺癌(ステージがⅢB期、ⅢC期若しくはⅣ期又は 術後に再発したものであって、化学療法が行われたものに限る。)	0人
テモゾロミド用量強化療法	0人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示 第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	バルーン肺動脈形成術(BPA)	取扱患者数	23人
当該医療技術の概要 慢性肺血栓塞栓性肺高血圧症患者の血栓閉塞病変などにバルーンを用いて肺動脈の再開通を行う			
医療技術名	肺静脈隔離術	取扱患者数	81人
当該医療技術の概要 心房細動治療のためのカテーテルアブレーション手技			
医療技術名	ロータブレーター(高速回転冠動脈アテレクトミー)による冠動脈形成術	取扱患者数	30人
当該医療技術の概要 高度石灰化病変をロータブレーターで削り、その後に、バルーンやステントで冠動脈形成術を施行			
医療技術名	経カテーテル大動脈弁置換術	取扱患者数	63人
当該医療技術の概要 経カテーテル人工生体弁セットを用いた大動脈弁置換術			
医療技術名	有床義歯咀嚼機能検査	取扱患者数	43人
当該医療技術の概要 有床義歯の適応が必要な患者に対し治療前後に咀嚼機能を検査する。治療効果の判定や治療方法に対する改善点を検討するための情報として利用し治療効果の向上を目指す。			
医療技術名	咀嚼能力検査	取扱患者数	55人
当該医療技術の概要 グミ咀嚼後のグルコース溶出量を検出し咀嚼能力の判定を行う。			
医療技術名	咬合圧検査	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要 感圧型咬合シートを用いて咬合時の最大圧力、圧力の分布を調べ、咬合状態を評価する。			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

4 指定難病についての診療

疾患名	患者数	疾患名	患者数
1 球脊髄性筋萎縮症	4	66 慢性血栓性肺高血圧症	24
2 筋萎縮性側索硬化症	13	67 リンパ管筋腫症	10
3 脊髄性筋萎縮症	2	68 網膜色素変性症	6
4 進行性核上性麻痺	3	69 バッド・キアリ症候群	2
5 パーキンソン病	69	70 原発性胆汁性肝硬変	50
6 大脳皮質基底核変性症	6	71 原発性硬化性胆管炎	4
7 シャルコー・マリー・トゥース病	4	72 自己免疫性肝炎	6
8 重症筋無力症	86	73 クロウン病	127
9 多発性硬化症/視神経脊髄炎	52	74 潰瘍性大腸炎	171
10 慢性炎症性脱髄性多発神経炎/多巣性運動ニューロパチー	14	75 好酸球性消化管疾患	12
11 多系統萎縮症	11	76 クリオピリン関連周期熱症候群	2
12 脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	26	77 若年性特発性関節炎	3
13 ラインゾーム病	8	78 TNF受容体関連周期性症候群	1
14 副腎白質ジストロフィー	1	79 筋ジストロフィー	5
15 ミトコンドリア病	5	80 アトピー性脊髄炎	1
16 もやもや病	66	81 脊髄空洞症	3
17 プリオン病	1	82 脊髄髄膜瘤	1
18 HTLV-1関連脊髄症	5	83 遺伝性ジストニア	1
19 全身性アミロイドーシス	19	84 前頭側頭葉変性症	1
20 ベスレムミオパチー	1	85 海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	2
21 神経線維腫症	25	86 レノックス・ガストー症候群	1
22 天疱瘡	14	87 徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	1
23 表皮水疱症	5	88 結節性硬化症	1
24 膿疱性乾癬(汎発型)	7	89 類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	7
25 高安動脈炎	30	90 特発性後天性全身性無汗症	3
26 巨細胞性動脈炎	6	91 弾性線維性仮性黄色腫	3
27 結節性多発動脈炎	16	92 マルフアン症候群	7
28 顕微鏡的多発血管炎	51	93 ウィルソン病	5
29 多発血管炎性肉芽腫症	21	94 モワット・ウィルソン症候群	1
30 好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	12	95 アペール症候群	1
31 悪性関節リウマチ	31	96 ウェルナー症候群	2
32 原発性抗リン脂質抗体症候群	4	97 ヌーナン症候群	1
33 全身性エリテマトーデス	273	98 修正大血管転位症	1
34 皮膚筋炎/多発性筋炎	84	99 単心室症	4
35 全身性強皮症	114	100 ファロー四徴症	2
36 混合性結合組織病	59	101 アルポート症候群	1
37 シェーグレン症候群	34	102 急速進行性糸球体腎炎	4
38 成人スチル病	12	103 抗糸球体基底膜腎炎	1
39 再発性多発軟骨炎	4	104 一次性ネフローゼ症候群	28
40 ベーチェット病	62	105 一次性膜性増殖性糸球体腎炎	5
41 特発性拡張型心筋症	56	106 紫斑病性腎炎	7
42 肥大型心筋症	38	107 間質性膀胱炎(ハンナ型)	13
43 再生不良性貧血	27	108 オスラー病	4
44 自己免疫性溶血性貧血	2	109 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	2
45 発作性夜間ヘモグロビン尿症	1	110 ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	2
46 特発性血小板減少性紫斑病	23	111 フェニルケトン尿症	3
47 血栓性血小板減少性紫斑病	2	112 メチルマロン酸血症	1
48 原発性免疫不全症候群	11	113 ポルフィリン症	1
49 IgA腎症	37	114 肝型糖原病	1
50 多発性嚢胞腎	20	115 脳髄黄色腫症	1
51 黄色靱帯骨化症	12	116 脂肪萎縮症	1
52 後縦靱帯骨化症	58	117 家族性地中海熱	31
53 広範脊柱管狭窄症	3	118 強直性脊椎炎	21
54 特発性大腿骨頭壊死症	52	119 クリッペル・レノネー・ウエーバー症候群	1
55 下垂体性ADH分泌異常症	20	120 後天性赤芽球癆	3
56 下垂体性TSH分泌亢進症	3	121 自己免疫性出血病XIII	1
57 下垂体性PRL分泌亢進症	9	122 胆道閉鎖症	4
58 クッシング病	6	123 IgG4関連疾患	12
59 下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	12	124 黄斑ジストロフィー	2
60 下垂体前葉機能低下症	40	125 レーベル遺伝性視神経症	1
61 家族性高コレステロール血症(ホモ接合)	1	126 好酸球性副鼻腔炎	15
62 先天性副腎皮質酵素欠損症	2	127 特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る。)	2
63 サルコイドーシス	66	128 無虹彩症	1
64 特発性間質性肺炎	77	129 特発性多中心性キャッスルマン病	11
65 肺動脈性肺高血圧症	24		

(注)「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・歯科外来診療環境体制加算2
・歯科診療特別対応連携加算	・特定機能病院入院基本料(一般病棟 7対1)
・特定機能病院入院基本料(結核病棟 7対1)	・特定機能病院入院基本料(精神病棟 13対1)
・救急医療管理加算	・超急性期脳卒中加算
・診療録管理体制加算1	・医師事務作業補助体制加算1(30対1)
・急性期看護補助体制加算(25対1・看護補助者5割未満)	・看護職員夜間配置加算(12対1配置加算2)
・看護補助加算2(精神病棟 50対1)	・療養環境加算
・重症者等療養環境特別加算	・無菌治療室管理加算1
・無菌治療室管理加算2	・緩和ケア診療加算
・精神科応急入院施設管理加算	・精神病棟入院時医学管理加算
・精神科身体合併症管理加算	・精神科リエゾンチーム加算
・栄養サポートチーム加算	・医療安全対策加算1
・感染防止対策加算1	・感染防止対策地域連携加算(感染防止対策加算1)
・抗菌薬適正使用支援加算(感染防止対策加算1)	・患者サポート体制充実加算
・褥瘡ハイリスク患者ケア加算	・ハイリスク妊娠管理加算
・ハイリスク分娩管理加算	・呼吸ケアチーム加算
・後発医薬品使用体制加算1	・病棟薬剤業務実施加算1
・病棟薬剤業務実施加算2	・データ提出加算(2)
・入退院支援加算(1)	・入退院支援加算(3)
・入院時支援加算(入退院支援加算)	・認知症ケア加算
・せん妄ハイリスク患者ケア加算	・精神疾患診療体制加算
・精神科急性期医師配置加算	・地域歯科診療支援病院入院加算
・排尿自立支援加算	・地域医療体制確保加算
・救命救急入院料1	・救急体制充実加算1(救命救急入院料)
・高度医療体制加算(救命救急入院料)	・小児加算(救命救急入院料)
・特定集中治療室管理料2	・小児加算(特定集中治療室管理料)

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・ウイルス疾患指導料	・外来栄養食事指導料の注2に規定する施設基準
・心臓ペースメーカー指導管理料の注5に掲げる遠隔モニタリング加算	・慢性維持透析患者外来医学管理料の注3の加算 腎代替療法実績加算
・喘息治療管理料	・糖尿病合併症管理料
・がん性疼痛緩和指導管理料	・がん患者指導管理料イ
・がん患者指導管理料ロ	・がん患者指導管理料ハ
・がん患者指導管理料ニ	・外来緩和ケア管理料
・移植後患者指導管理料(臓器移植後の場合)	・移植後患者指導管理料(造血幹細胞移植後の場合)
・糖尿病透析予防指導管理料	・小児運動器疾患指導管理料
・乳腺炎重症化予防ケア・指導料	・婦人科特定疾患治療管理料
・腎代替療法指導管理料	・院内トリアージ実施料
・外来放射線照射診療料	・ニコチン依存症管理料
・療養・就労両立支援指導料の注3に掲げる相談支援加算	・がん治療連携計画策定料
・肝炎インターフェロン治療計画料	・外来排尿自立指導料
・ハイリスク妊産婦連携指導料1	・ハイリスク妊産婦連携指導料2
・薬剤管理指導料	・検査・画像情報提供加算/電子的診療情報評価料
・医療機器安全管理料1	・医療機器安全管理料2
・在宅療養後方支援病院	・在宅植込型補助人工心臓(非拍動流型)指導管理料
・在宅腫瘍治療電場療法指導管理料	・在宅経肛門的自己洗腸指導管理料
・持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動する持続血糖測定器を用いる場合)	・遺伝学的検査
・骨髄微小残存病変量測定	・BRCA1/2遺伝子検査(腫瘍細胞を検体とするもの)
・BRCA1/2遺伝子検査(血液を検体とするもの)	・がんゲノムプロファイリング検査
・先天性代謝異常症検査	・抗HLA抗体(スクリーニング検査)/抗HLA抗体(抗体特異性同定検査)
・HPV核酸検出	・HPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)
・ウイルス・細菌核酸多項目同時検出	・検体検査管理加算(IV)
・国際標準検査管理加算	・遺伝カウンセリング加算
・遺伝性腫瘍カウンセリング加算	・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・時間内歩行試験/シャトルウォーキングテスト	・胎児心エコー法
・ヘッドアップティルト試験	・皮下連続式グルコース測定
・長期継続頭蓋内脳波検査	・長期脳波ビデオ同時記録検査1
・神経学的検査	・補聴器適合検査
・ロービジョン検査判断料	・小児食物アレルギー負荷検査
・内服・点滴誘発試験	・センチネルリンパ節生検(乳がんに係るものに限る。)
・経気管支凍結生検法	・ポジトロン断層撮影又はポジトロン断層・ コンピューター断層複合撮影
・CT撮影/MRI撮影	・冠動脈CT撮影加算
・外傷全身CT加算	・大腸CT撮影加算
・心臓MRI撮影加算	・乳房MRI撮影加算
・小児鎮静下MRI撮影加算	・頭部MRI撮影加算
・画像診断管理加算3	・抗悪性腫瘍剤処方管理加算
・無菌製剤処理料	・外来化学療法加算1
・連携充実加算	・心大血管疾患リハビリテーション料(I)
・(心大血管疾患リハビリテーション初期加算)	・脳血管疾患等リハビリテーション料(I)
・(脳血管疾患等リハビリテーション初期加算)	・歯科口腔リハビリテーション料2
・運動器リハビリテーション料(I)	・(運動器リハビリテーション初期加算)
・呼吸器リハビリテーション料(I)	・(呼吸器リハビリテーション初期加算)
・がん患者リハビリテーション料	・通院・在宅精神療法 (児童思春期精神科専門管理加算)
・精神科作業療法	・抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合 失調症治療指導管理料に限る。)
・医療保護入院等診療料	・エタノールの局所注入(甲状腺に対するもの)
・エタノールの局所注入(副甲状腺に対するもの)	・人工腎臓
・導入期加算2	・透析液水質確保加算
・慢性維持透析濾過加算	・処置の休日加算1/時間外加算1/深夜加算1
・皮膚悪性腫瘍切除術(センチネルリンパ節加算を算定する 場合に限る。)	・組織拡張器による再建手術(一連につき) (乳房(再建手術)の場合に限る。)
・四肢・躯幹軟部悪性腫瘍手術の注に掲げる 処理骨再建加算	・骨悪性腫瘍手術の注に掲げる処理骨再建加算

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(同種骨移植(非生体)(同種骨移植(特殊なものに限る。)))	・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)
・後縦靭帯骨化症手術(前方進入によるもの)	・椎間板内酵素注入療法
・脳腫瘍覚醒下マッピング加算	・頭蓋骨形成手術(骨移動を伴うものに限る。)
・脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む)/脳刺激装置交換術	・仙骨神経刺激装置植込術/仙骨刺激装置交換術
・角膜移植術(内皮移植加算)	・羊膜移植術
・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))	・緑内障手術(水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術)
・網膜付着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの)	・網膜再建術
・人工中耳植込術	・人工中耳用材料
・人工内耳植込術	・植込型骨導補聴器移植術/植込型骨導補聴器交換術
・内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)	・鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)
・鏡視下喉頭悪性腫瘍手術	・喉頭形成手術(甲状軟骨固定用器具を用いたもの)
・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療以外の診療に係るものに限る。)/下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療以外の診療に係るものに限る。)	・乳腺悪性腫瘍手術(乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴わないもの)/乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴うもの))
・乳がんセンチネルリンパ節加算1及び2	・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)
・胸腔鏡下拡大胸腺摘出術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・肺悪性腫瘍手術(壁側・臓側胸膜全切除(横隔膜、心膜合併切除を伴うもの)に限る。)
・同種死体肺移植術	・生体部分肺移植術
・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(区域切除及び肺葉切除又は1肺葉を超えるもので内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・食道縫合術(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの)/内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術/胃瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)/小腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)/結腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)/腎(腎盂)腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)/尿管腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)/膀胱腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)/腔腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)
・胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・内視鏡下筋層切開術
・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)	・胸腔鏡下弁形成術
・胸腔鏡下弁置換術	・経カテーテル大動脈弁置換術
・経皮的中隔心筋焼灼術	・ペースメーカー移植術/ペースメーカー交換術
・ペースメーカー移植術/ペースメーカー交換術(リードレスペースメーカー)	・両心室ペースメーカー移植術(経静脈電極の場合)/両心室ペースメーカー交換術(経静脈電極の場合)
・植込型除細動器移植術(経静脈リードを用いるもの又は皮下植込型リードを用いるもの)/植込型除細動器交換術(その他のもの)及び経静脈電極除去術	・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術(経静脈電極の場合)/両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(経静脈電極の場合)
・大動脈バルーンポンピング法(IABP法)	・経皮的循環補助法(ポンプカテーテルを用いたもの)
・補助人工心臓	・植込型補助人工心臓(非拍動流型)
・腹腔鏡下リンパ節群郭清術(後腹膜)	・腹腔鏡下リンパ節群郭清術(傍大動脈)

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・腹腔鏡下十二指腸局所切除術 (内視鏡処置を併施するもの)	・腹腔鏡下胃切除術 (内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・腹腔鏡下噴門側胃切除術 (内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・腹腔鏡下胃縮小術(スリーブ状切除によるもの)
・腹腔鏡下胃全摘術 (内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・胃瘻造設術 (内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)
・バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術	・胆管悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除及び肝切除 (葉以上)を伴うものに限る。)
・体外衝撃波胆石破砕術	・腹腔鏡下肝切除術
・生体部分肝移植術	・同種死体肝移植術
・体外衝撃波膵石破砕術	・腹腔鏡下膵腫瘍摘出術
・腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術	・腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術 (内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・腹腔鏡下膵頭部腫瘍切除術	・腹腔鏡下膵頭部腫瘍切除術 (内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・同種死体膵移植術	・同種死体膵腎移植術
・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	・腹腔鏡下直腸切除・切断術 (内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・腹腔鏡下小切開副腎摘出術	・体外衝撃波腎・尿管結石破砕術
・腹腔鏡下小切開腎部分切除術	・腹腔鏡下小切開腎摘出術
・腹腔鏡下小切開腎(尿管)悪性腫瘍手術	・腎腫瘍凝固・焼灼術(冷凍凝固によるもの)
・腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術 (内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	・同種死体腎移植術
・生体腎移植術	・膀胱水圧拡張術
・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術	・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術 (内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・腹腔鏡下小切開前立腺悪性腫瘍手術	・人工尿道括約筋植込・置換術
・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術	・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術 (内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・腹腔鏡下仙骨腫固定術	・腹腔鏡下腔式子宮全摘術 (内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮頸がんに限る。)
・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに対して 内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・胎児胸腔・羊水腔シャント術
・輸血管管理料 I	・貯血式自己血輸血管管理体加算
・自己生体組織接着剤作成術	・自己クリオプレシピテート作製術(用手法)
・同種クリオプレシピテート作製術	・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
・胃瘻造設時嚥下機能評価加算	・手術の休日加算1/時間外加算1/深夜加算1

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・医科点数表第2章第10部手術の通則5及び6(歯科点数表第2章第9部の通則4を含む。)に掲げる手術	・子宮附属器腫瘍摘出術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群の患者に対して行うものに限る。)(医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術)
・乳房切除術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群の患者に対して行うものに限る。)(医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術)	・麻酔管理料(I)
・麻酔管理料(II)	・放射線治療専任加算
・外来放射線治療加算	・高エネルギー放射線治療
・1回線量増加加算(全乳房照射)	・強度変調放射線治療(IMRT)
・画像誘導放射線治療加算(IGRT)	・体外照射呼吸性移動対策加算
・1回線量増加加算(前立腺照射)	・定位放射線治療
・定位放射線治療呼吸性移動対策加算	・画像誘導密封小線源治療加算
・デジタル病理画像による病理診断	・病理診断管理加算2
・悪性腫瘍病理組織標本加算	・保険医療機関間の連携による病理診断
・保険医療機関間の連携におけるデジタル病理画像による術中迅速病理組織標本作製	・歯科疾患管理料の注11に掲げる総合医療管理加算
・歯科治療時医療管理料	・有床義歯咀嚼機能検査2のイ/ロ
・有床義歯咀嚼機能検査1のイ/ロ	・咬合圧検査
・咀嚼能力検査	・睡眠時歯科筋電図検査
・精密触覚機能検査	・歯科画像診断管理加算2
・歯科画像診断管理加算1	・歯根端切除手術の注3
・手術用顕微鏡加算	・歯周組織再生誘導手術
・口腔粘膜処置	・広範囲顎骨支持型装置埋入手術
・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療に係るものに限る。)/下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療に係るものに限る。)	・歯科麻酔管理料
・レーザー機器加算	・う蝕歯無痛の窩洞形成加算
・クラウン・ブリッジ維持管理料	・有床義歯修理及び有床義歯内面適合法の歯科技工加算1及び2
・CAD/CAM冠	・顎口腔機能診断料(顎変形症(顎離断等の手術を必要とするものに限る。))の手術前後における歯科矯正に係るもの
・歯科矯正診断料	・入院時食事療養(I)・入院時生活療養費(I)
・口腔病理診断管理加算2	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

7 診療報酬の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・金属代替材料としてグラスファイバーで補強された高強度のコンポジットレジンをを用いた三ユニットブリッジ治療	・
・腹腔鏡下広汎子宮全摘術	・
・急性リンパ性白血病細胞の免疫遺伝子再構成を利用した定量的PCR法による骨髄微小残存病変(MRD)量の測定	・
・マルチプレックス遺伝子パネル検査	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注) 1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。
 (注) 2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、診療報酬の算定方法(平成二〇年厚生労働省告示第五九号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	58
剖検の状況	剖検症例数 18 例 / 剖検率 5.8 %

(注) 「症例検討会の開催頻度」及び「剖検の状況」欄には、前年度の実績を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
難治性呼吸器疾患に対する新規核酸医薬品の開発	佐々木 均	薬剤部	4,600,000	①補委 日本学術振興会
ATL発症クローンの同定・解析に基づく病因解明と個別化検査法の確立	長谷川 寛雄	安全管理部	2,400,000	①補委 日本学術振興会
オキサリプラチンの治療効果に及ぼす胃酸分泌抑制剤の影響に関する検討	橋詰 淳哉	検査部	460,000	①補委 日本学術振興会
ナノ銀イオンコーティングによるインプラント上部構造のプラーク沈着抑制効果	里 美香	特殊歯科総合診療部	460,000	①補委 日本学術振興会
ATLL及びB細胞性リンパ腫発症リスク評価・判定法の開発	長谷川 寛雄	検査部	150,000	①補委 日本学術振興会
ATLL及びB細胞性リンパ腫発症リスク評価・判定法の開発	今泉 芳孝	血液内科 (原研内科)	150,000	①補委 日本学術振興会
深層学習を用いた舌骨上・下筋群の協調パターン解析に基づく嚥下機能評価技術の確立	玉田 泰嗣	特殊歯科総合診療部	100,000	①補委 日本学術振興会
慢性肝疾患におけるフレイル予防策の解明	田浦 直太	病床管理センター	1,000,000	①補委 日本学術振興会
エピジェネティクス(特にHDAC)がケロイド発生病態に及ぼす効果の検討	鍛塚 大	皮膚科・アレルギー科	1,000,000	①補委 日本学術振興会
パターン認識に基づく新たな炎症病態解析法の開発	田島 吾郎	救命救急センター	1,000,000	①補委 日本学術振興会
敗血症性心筋障害におけるアポトーシスの制御とGLP-1受容体の役割解明	吉富 修	麻酔科	900,000	①補委 日本学術振興会
脳梗塞に対する細胞移植・再生医療における健常対側大脳半球の制御メカニズム解明	堀江 信貴	脳神経外科	700,000	①補委 日本学術振興会
免疫学的プロファイリングによる間質性膀胱炎の病態解明と新規診断ツールと治療法開発	松尾 朋博	泌尿器科・腎移植外科	900,000	①補委 日本学術振興会
腎臓幹細胞に癌周囲微小環境変化が与える影響の解析:新たな治療戦略の開発を目指して	大庭 康司郎	泌尿器科・腎移植外科	1,000,000	①補委 日本学術振興会
遠隔転移に関するエクソソームmicroRNA解析による口腔癌治療標的分子の探索	柳本 惣市	口腔顎顔面外科	1,000,000	①補委 日本学術振興会
根尖に沈着したコレステロール結晶の骨吸収促進作用とシクロデキストリンによる抑制	白石 千秋	口腔管理センター	1,000,000	①補委 日本学術振興会
高透光性PSZ系ジルコニアのアルミナプラスティング後の曲げ強度は熱処理で改善する	吉田 圭一	冠補綴治療室	1,100,000	①補委 日本学術振興会
人工知能(AI)を利用した顎顔面の成長予測技術の開発	古賀 義之	矯正歯科 (歯科矯正学)	1,000,000	①補委 日本学術振興会
がん化学療法誘発口腔粘膜炎に対するBlimp-1の新規機能の解明	吉松 昌子	口腔管理センター	1,100,000	①補委 日本学術振興会
スマートグラスを利用したバーチャル専門外来の確立と有用性の検討	辻野 彰	脳神経内科	600,000	①補委 日本学術振興会
遺伝性乳がん・卵巣がん症候群に関する看護職者教育プログラムの開発	松本 恵	腫瘍外科 (第一外科)	800,000	①補委 日本学術振興会
慢性炎症をきたす持続感染症とサルコペニアとの関連の解明	山梨 啓友	総合診療科	2,000,000	①補委 日本学術振興会
肺動脈性肺高血圧症での新規アポトーシス誘導物質の病態への関連性と新規治療法の開発	江口 正倫	循環器内科	1,000,000	①補委 日本学術振興会
ATLに対する個別化治療:MTAPを指標としたPRMT5阻害剤による治療の開発	今泉 芳孝	血液内科 (原研内科)	700,000	①補委 日本学術振興会
HTLV-1のシェーグレン症候群病態形成への直接的関与	中村 英樹	リウマチ・膠原病内科 (第一内科)	1,100,000	①補委 日本学術振興会

小計 25件

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
肺非結核性抗酸菌症と腸内細菌叢の関連性の解析	今村 圭文	呼吸器内科 (第二内科)	1,000,000	⑦ 日本学術振興会
独自ラット肺移植モデルを用いた間葉系幹細胞による拒絶抑制法の開発	宮崎 拓郎	腫瘍外科 (第一外科)	1,300,000	⑦ 日本学術振興会
デクスメタミジンの心筋保護作用と心臓血管外科周術期管理への応用	東島 潮	麻酔科	1,300,000	⑦ 日本学術振興会
てんかん原虫獲得におけるNeurovascular unit機能破綻の機序解明	馬場 史郎	脳神経外科	1,300,000	⑦ 日本学術振興会
Rho kinase阻害薬fasudilが血液脳関門に与える影響とメカニズム解明	松永 裕希	脳神経外科	1,300,000	⑦ 日本学術振興会
腎癌におけるフェロトーシスの分子機構の解明と新たな治療戦略の構築	望月 保志	泌尿器科・腎移植外科	1,400,000	⑦ 日本学術振興会
絨毛性疾患における妊娠関連胎盤特異的microRNAの臨床的意義に関する研究	長谷川 ゆり	産科婦人科	900,000	⑦ 日本学術振興会
胎児由来mRNA/microRNAの機能解析とその臨床的意義に関する研究	永田 愛(東島)	産科婦人科	800,000	⑦ 日本学術振興会
外傷性咬合による骨吸収におけるHMGB1の関与	鶴飼 孝	口腔管理センター	1,200,000	⑦ 日本学術振興会
高齢者・有病者・障害者のための簡易な固定性補綴歯科治療の提言	田上 直美	特殊歯科総合治療部	800,000	⑦ 日本学術振興会
痛みを伴うのに咬みしめはどのように習癖に移行するのか？ -筋抵抗性変化との関連-	鳥巢 哲朗	義歯補綴治療室	900,000	⑦ 日本学術振興会
骨形成におけるROSの影響とそれを抑制するインプラント表面の設計	尾立 哲郎	冠補綴治療室	700,000	⑦ 日本学術振興会
頸部聴診法の人工知能化による嚥下モニターの開発	玉田 泰嗣	特殊歯科総合診療部	700,000	⑦ 日本学術振興会
多機能性経肺投与型ナノ微粒子を基盤とした難治性肺がんに対する遺伝子・核酸医薬開発	兒玉 幸修	薬剤部	1,000,000	⑦ 日本学術振興会
適正な医療資源活用と医療費抑制のためのがん薬物療法効果予測研究	福田 実	がん診療センター	1,300,000	⑦ 日本学術振興会
生体外MRIで作成した高分解能定量的磁化率マップによる動脈硬化性プラーク成分解析	石丸 英樹	放射線科	2,300,000	⑦ 日本学術振興会
発汗障害解明に向けた汗腺の上皮間葉転換分子動態の解析	小池 雄太	皮膚科・アレルギー科	1,200,000	⑦ 日本学術振興会
短腸症候群に対する自己細胞のみからなる人工小腸による再生医療	森山 正章	腫瘍外科 (第一外科)	1,700,000	⑦ 日本学術振興会
神経微小環境と免疫細胞の相互作用による膵発癌・増悪の機序解明	田中 貴之	移植・消化器外科 (第二外科)	1,100,000	⑦ 日本学術振興会
重症患者における小腸粘膜細胞傷害 -発生メカニズムの解明と新規治療戦略の構築-	関野 元裕	集中治療部	1,600,000	⑦ 日本学術振興会
長時間の高濃度酸素吸入が幹細胞の動員と臓器虚血再灌流傷害に与える影響	稲富 千亜紀	麻酔科	1,200,000	⑦ 日本学術振興会
SGLT2阻害薬による心筋虚血再灌流傷害に対する心保護効果の機序解明	柴田 伊津子	麻酔科	1,100,000	⑦ 日本学術振興会
脳梗塞に対する幹細胞移植後の機能回復に関連する脳可塑性の解明	日宇 健	脳神経外科	900,000	⑦ 日本学術振興会
腎癌における逐次交換療法における効果予測モデルの構築:免疫複合体に注目した検討	光成 健輔	泌尿器科・腎移植外科	900,000	⑦ 日本学術振興会
口腔扁平上皮癌患者の口腔内細菌叢Dysbiosis同定と革新的な癒合免疫療法開発	岡野 慎士	病理診断科・病理部	1,100,000	⑦ 日本学術振興会
骨吸収抑制薬剤関連顎骨壊死に対するMRIの役割	佐々木 美穂	歯科放射線室	1,500,000	⑦ 日本学術振興会
人工知能を用いた口腔がんの細胞診・予後判定システムの開発	見立 英史	顎口腔再生外科室	1,900,000	⑦ 日本学術振興会
地域医療情報システムを用いた脳卒中・心疾患共通レジストリ構築と予後予測因子の探索	立石 洋平	脳神経内科	500,000	⑦ 日本学術振興会

小計 28件

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
間質性肺疾患におけるフレイルの意義と神経筋電気刺激療法による介入戦略	花田 匡利	リハビリテーション部	1,800,000	補委 日本学術振興会
テキストマイニングを用いた入退院支援の質的分析	川崎 浩二	地域医療連携センター	600,000	補委 日本学術振興会
持続的血液濾過透析中の早期離床は患者の予後を変えられるか?	矢野 雄大	リハビリテーション部	500,000	補委 日本学術振興会
乳幼児のガンシクロビル治療最適化のための薬物動態解析と治療効果に関する研究	里 加代子	薬剤部	1,700,000	補委 日本学術振興会
難治性肺疾患に対する脂肪組織由来間葉系幹細胞を用いた幹細胞治療の基礎研究	土肥 良一郎	腫瘍外科 (第一外科)	1,000,000	補委 日本学術振興会
新規糖尿病治療薬であるSGLT2阻害薬の心筋保護作用への影響	江頭 崇	麻酔科	800,000	補委 日本学術振興会
ARONJに対するテリパラチド投与における骨代謝動態および病理組織学的検討	森下 廣太	口腔管理センター	100,000	補委 日本学術振興会
トランスロケーションマウスモデルを用いたカンジダ属の病原性評価	平山 達朗	呼吸器内科 (第二内科)	1,600,000	補委 日本学術振興会
セラミド含有exosomeを介した新規NASH進展メカニズムの解明	福島 真典	消化器内科	1,400,000	補委 日本学術振興会
皮膚感覚過敏の機序解明～脳機能評価を応用した新しい試み～	鉾塚 さやか	皮膚科・アレルギー科	1,500,000	補委 日本学術振興会
原爆被爆者に見られるクローン性造血の解析	佐藤 信也	血液内科(原研内科)	1,000,000	補委 日本学術振興会
自己免疫疾患におけるMEFV遺伝子変異の病態修飾に関する研究	遠藤 友志郎	リウマチ・膠原病内科 (第一内科)	1,100,000	補委 日本学術振興会
HER2陽性乳癌のイメージガイド下手術におけるtracer検索	大坪 竜太	腫瘍外科(第1外科)	500,000	補委 日本学術振興会
敗血症における腸管虚血の制御:循環作動薬および鎮静薬が腸管血流に与える影響	井上 陽香	麻酔科	400,000	補委 日本学術振興会
脳梗塞に対する脂肪細胞由来幹細胞移植投与方法の確立と健側の役割の解明	定方 英作	脳神経外科	1,400,000	補委 日本学術振興会
男性骨粗鬆症の病態解明を目指したコホート調査:高解像度定量的CTによる解析	岡崎 成弘	整形外科	1,400,000	補委 日本学術振興会
交代勤務看護師を対象とした認知行動療法を用いた睡眠衛生教育プログラムの確立	表浦 由紀(現姓:牛込 由紀)	総合診療科	400,000	補委 日本学術振興会
生体における膝関節動態解析。徳常、靭帯損傷、変形性関節症を含む。	中添 悠介	整形外科	1,200,000	補委 日本学術振興会
臨床研究の質と研究者を取り巻く環境要因および心理的要因との関連	佐藤 俊太郎	臨床研究センター (臨床研究ユニット)	600,000	補委 日本学術振興会
浸潤性粘液腺癌の原因遺伝子解析研究	黒田 揮志夫	病理診断科・病理部	1,900,000	補委 日本学術振興会
二光子励起顕微鏡を用いた口腔癌のイメージングと深部評価のためのツール開発	緒方 絹子	顎口腔再生外科	1,900,000	補委 日本学術振興会
精神科での臨床研修における研修医の学びの多面的解析	松坂 雄亮	精神科神経科	1,000,000	補委 日本学術振興会
肝細胞癌分子標的薬治療の有害事象予測モデルを組み合わせた新規効果予測	佐々木 龍	消化器内科	1,200,000	補委 日本学術振興会
プロサイモシノα由来ペプチドによるシスプラチン誘発性腎障害の新規予防法開発	鳥越 健太	腎臓内科	1,400,000	補委 日本学術振興会
嗅覚受容による全く新しい発汗制御:熱中症予防や発汗異常の治療方法の確立にむけて	村山 直也	皮膚科・アレルギー科	2,100,000	補委 日本学術振興会
口腔内細菌叢とACPA成熟に着目したRA発症機序の解明	辻 良香	リウマチ・膠原病内科 (第一内科)	1,500,000	補委 日本学術振興会
T細胞に着目した特発性多中心性キャスルマン病の病態解明	住吉 玲美	臨床研究センター	1,000,000	補委 日本学術振興会
シェーグレン症候群唾液腺におけるTLR7シグナル活性および機能解析	清水 俊匡	臨床研究センター	1,200,000	補委 日本学術振興会

小計 28件

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
ポリウムカプノグラム分析を用いた肺内シャントの検討	荒木 寛	集中治療部	300,000	① 日本学術振興会
間葉系幹細胞が敗血症における凝固線溶機能に与える影響:組織因子を指標とした検討	矢野 倫太郎	集中治療部	1,200,000	① 日本学術振興会
羊膜マイクログラフト混成型人工神経による末梢神経再生	岩尾 敦彦	形成外科	1,500,000	① 日本学術振興会
歯髄由来幹細胞新規分離膜による歯髄組織由来膜分取幹細胞の分取法の確立	山本 耕平	歯科保存治療室	1,400,000	① 日本学術振興会
薬剤関連顎骨壊死の治療予後に着与する骨膜反応の放射線学的および病理組織学的解析	林田 咲	口腔顎顔面外科	1,300,000	① 日本学術振興会
化学修飾microRNAや環状RNAを搭載した新規骨誘導性遺伝子活性化基質	四道 玲奈	顎口腔再生外科	1,400,000	① 日本学術振興会
成育期における咀嚼・嚥下機能発達と顎顔面形態成長の相互制御機構の解明	吉見 知子	矯正歯科 (歯科矯正学)	1,600,000	① 日本学術振興会
正確で簡便な看護業務時間測定と評価による業務改善システムの検証と実装に向けた研究	岡田 みずほ	看護部管理室	1,900,000	① 日本学術振興会
内因性TCRおよびMHC発現を抑制した非自己T細胞によるT細胞輸注療法の開発	岡田 怜美	移植・消化器外科 (第二外科)	1,100,000	① 日本学術振興会
ナノバブルを用いた新規根管洗浄システムの開発	中園 史子	歯科保存治療室	1,100,000	① 日本学術振興会
頭頸部がん放射線治療時の口腔カンジダ症予防に関する多施設共同ランダム化比較試験	原田 沙織	口腔顎顔面外科	1,100,000	① 日本学術振興会
全身麻酔後の睡眠障害に起因する術後せん妄の軽減に関する研究	尾崎 由	麻酔・生体管理科	900,000	① 日本学術振興会
胎盤組織由来間葉系幹細胞を用いた放射線皮膚潰瘍予防への試み	西條 広人	形成外科	1,100,000	① 日本学術振興会
核酸・新規カチオン性高分子複合体の空間的配置の適正化による新規骨誘導性基質の開発	原 昌士	顎口腔再生外科	1,100,000	① 日本学術振興会
小脳失調を合併したランバート・イートン筋無力症候群の血液脳関門は破綻している	吉村 俊祐	脳神経内科	100,000	① 日本学術振興会
口腔癌頭部リンパ節転移被膜外浸潤進展度分類と進展メカニズムの分子細胞生物学的研究	柳本 惣市	口腔顎顔面外科	10,000	① 日本学術振興会
ICU獲得性筋力低下に対して運動療法と栄養療法を併用する新たな治療戦略	矢野 雄大	リハビリテーション部	10,000	① 日本学術振興会
ICU獲得性筋力低下に対して運動療法と栄養療法を併用する新たな治療戦略	関野 元裕	集中治療部	9,800	① 日本学術振興会
ICU獲得性筋力低下に対して運動療法と栄養療法を併用する新たな治療戦略	花田 匡利	リハビリテーション部	10,000	① 日本学術振興会
共生細菌の糖利用競争力を利用した耐性菌制御法の構築	村田 美香	検査部	150,000	① 日本学術振興会
遺伝子搭載自己組織化ナノデバイスを用いた新規骨再生基質の開発	朝比奈 泉	顎口腔再生外科学 (口腔外科学第二)	6,200,000	① 日本学術振興会
HTLV-1による慢性炎症修飾の関連解明を目指したコホート研究	前田 隆浩	総合診療科	3,500,000	① 日本学術振興会
口腔健康状態は4大死因につながる生活習慣病へ影響するか?:五島コホート研究	齋藤 俊行	口腔保健学 (予防歯科)	3,700,000	① 日本学術振興会
自己細胞を用いた人工気管による再生医療と難治性気道疾患への応用	松本 桂太郎	腫瘍外科学 (第一外科)	1,400,000	① 日本学術振興会
病因関連分子と治癒関連分子を基盤とした薬剤関連顎骨壊死の新規分子標的治療法開発	黒嶋 伸一郎	口腔インプラント学 (歯科補綴学第一)	3,500,000	① 日本学術振興会
組織骨格を利用した再生臓器におけるハイブリッド型血管ニッチの確立と移植研究	土谷 智史	腫瘍外科学 (第一外科)	2,000,000	① 日本学術振興会
プレジジョンインプラント治療を目指した時間依存性荷重誘発型骨質最適化分子の探索	澤瀬 隆	口腔インプラント学 (歯科補綴学第一)	3,300,000	① 日本学術振興会
生理活性物質徐放能とナノ複合化光触媒機能をもつ多機能粘弾性軟質リジン材の開発	村田 比呂司	歯科補綴学 (歯科補綴学第二)	9,400,000	① 日本学術振興会

小計 28件

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
肝細胞癌に対するCDK4/6阻害薬による抗腫瘍免疫誘導の基礎検討	中尾 一彦	消化器内科	1,000,000	補委 日本学術振興会
植物性ナノ粒子による非アルコール性脂肪性肝疾患に対する新規薬効成分の探索	宮明 寿光	消化器内科	800,000	補委 日本学術振興会
関節リウマチの関節破壊機序の解明:高解像度CTによるアプローチ	玉井 慎美	リウマチ・膠原病内科学(第一内科)	600,000	補委 日本学術振興会
抗CCP抗体の病的意義の研究からめざす関節リウマチの病態解明および最適化治療	岩本 直樹	リウマチ・膠原病内科学(第一内科)	600,000	補委 日本学術振興会
リアルタイム可視化アッセイによるオピオイド受容体細胞内動態解析と新規鎮痛法の開拓	村田 寛明	麻酔科	900,000	補委 日本学術振興会
血液脳関門保護をターゲットとした中枢神経疾患治療薬の開発	出雲 剛	脳神経外科	700,000	補委 日本学術振興会
胎児機能における羊水由来間葉系幹細胞・エクソソームの役割と臨床的意義に関する研究	三浦 生子	産科婦人科	800,000	補委 日本学術振興会
子宮内膜炎の卵巣予備能低下における細胞外基質マイクロフィブリルの役割に関する研究	北島 道夫	産科婦人科	700,000	補委 日本学術振興会
高解像度3D手術顕微鏡および画像オーバーレイシステムの構築	北岡 隆	眼科	300,000	補委 日本学術振興会
根尖に沈着したコレステロール結晶の骨吸収促進作用とシクロデキストリンによる抑制	白石 千秋	歯周歯内治療学	1,000,000	補委 日本学術振興会
多施設共同前向き研究による舌癌予防剤の適応決定と転移関連バイオマーカー検索	梅田 正博	口腔外科学第一	500,000	補委 日本学術振興会
早期発症型小児齲蝕罹患小児における口腔内細菌叢の解析と新しい疾患予防法について	佐藤 恭子	小児歯科学	700,000	補委 日本学術振興会
分子イメージングを用いて力と骨代謝の関係を究明し矯正力を最適化する	森田 幸子	矯正歯科(歯科矯正学)	1,200,000	補委 日本学術振興会
頭頸部への放射線治療に伴う口腔有害事象予防バンドルの効果とQOLの評価	川下 由美子	口腔保健学(予防歯科)	300,000	補委 日本学術振興会
カロリー制限による老化と癌の制御におけるFMO3遺伝子の役割	林 洋子	病理学(探索病理学)	900,000	補委 日本学術振興会
病原真菌カンジダにおける多剤耐性機序の解明とその克服	宮崎 泰可	呼吸器内科(第二内科)	900,000	補委 日本学術振興会
AI技術を活用した『真の寛解』を目指した次世代関節リウマチ診療アルゴリズムの構築	川尻 真也	リウマチ・膠原病内科学(第一内科)	1,200,000	補委 日本学術振興会
関節リウマチの精密医療の実現を目指す多角的な病態解析研究	川上 純	リウマチ・膠原病内科学(第一内科)	1,000,000	補委 日本学術振興会
家族性地中海熱の「早期診断」と「精密医療の実現」に向けたバイオマーカーの開発	古賀 智裕	リウマチ・膠原病内科学(第一内科)	900,000	補委 日本学術振興会
革新的な新規キッドバイオプシー法を用いた新しい乳癌の診断・治療法の探索	及川 将弘	腫瘍外科学(第一外科)	900,000	補委 日本学術振興会
凍結および真空乾燥ヒト羊膜を利用した新規呼吸器外科領域被覆材の創製	永安 武	腫瘍外科学(第一外科)	900,000	補委 日本学術振興会
イムノコンプレキソーム解析法を用いた去勢抵抗性前立腺癌特異的病態関連因子の検討	酒井 英樹	泌尿器科	1,100,000	補委 日本学術振興会
糖尿病網膜症増悪因子の検討	松本 牧子	眼科	1,100,000	補委 日本学術振興会
骨細胞を基軸としたリン依存性オートファジー誘発型骨老化機構の解明	佐々木 宗輝	口腔インプラント学(歯科補綴学第一)	1,000,000	補委 日本学術振興会
光合成の触媒系を象牙質接着強化に応用し歯根を保存するバイオミメティクス研究	平 曜輔	歯科補綴学(歯科補綴学第二)	700,000	補委 日本学術振興会
免疫チェックポイント阻害薬の効果に関する研究	川崎 五郎	口腔腫瘍治療学(口腔外科学第一)	700,000	補委 日本学術振興会
マルチパラメトリックMRIを用いた高精度口腔癌リンパ節転移予測法の確立	角 美佐	歯科放射線学	1,100,000	補委 日本学術振興会
放射線によって活性化されるcPLA2の役割	片山 郁夫	歯科放射線学	1,200,000	補委 日本学術振興会

小計 28件

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
上気道閉塞徴候と麻酔科医の診断・処置データを深層学習させた麻酔管理ロボットの開発	鮎瀬 卓郎	歯科麻酔学	200,000	補助委 日本学術振興会
S.mutansとS.sobrinusの共感染による重症う蝕発生メカニズムの解明	藤原 卓	小児歯科学	1,000,000	補助委 日本学術振興会
HSP47をターゲットとした肺線維症治療薬の開発	迎 寛	呼吸器内科(第二内科)	1,000,000	補助委 日本学術振興会
肺線維症におけるγ δ細胞の役割解明と治療応用に向けた基礎研究	坂本 憲徳	呼吸器内科(第二内科)	1,000,000	補助委 日本学術振興会
カルボキシメチルセルロース(CMC)アレルギーの実態調査と発症病態の解明	橋本 邦生	小児科学	300,000	補助委 日本学術振興会
アスペルギルスと非結核性抗酸菌の細胞間コミュニケーションを介した難治化機序の解明	泉川 公一	感染制御教育センター	600,000	補助委 日本学術振興会
宿主免疫機構と細菌叢の作用を連携させた、細菌感染に対する新規治療法の開発	坂本 啓	病態解析・診断学(臨床検査医学)	1,300,000	補助委 日本学術振興会
ESBL産生菌の腸内定着に寄与するマイクロバイオームの解明と新規制御法への展開	柳原 克紀	病態解析・診断学(臨床検査医学)	1,300,000	補助委 日本学術振興会
括約筋再生のための機能的筋細胞シートの開発	金高 賢悟	移植・消化器外科(第二外科)	1,200,000	補助委 日本学術振興会
ナノバブルを用いた新たな臓器保存液の臨床応用に向けた有効性の確立とシステム開発	原 亮介	腫瘍外科学(第一外科)	1,600,000	補助委 日本学術振興会
薬理的循環補助におけるアドレナリンβ2受容体の役割	原 哲也	麻酔科	1,000,000	補助委 日本学術振興会
rRNA合成の調節因子Nopp140の骨格形成における役割の解明	松裏 恵子	硬組織疾患基礎研究センター(小守先生)	1,400,000	補助委 日本学術振興会
歯周病によるNLRP3インフラマソーム活性化が全身疾患に及ぼす影響	吉村 篤利	歯周歯内治療学	1,100,000	補助委 日本学術振興会
天然活性物質含有ナノバブル水を利用した無髄歯に対する革新的象牙質改質剤の開発	山田 志津香	歯周歯内治療学	1,000,000	補助委 日本学術振興会
ステロイド軟膏による放射線性口腔粘膜炎予防と口腔内細菌叢変化に関する第Ⅲ相試験	村田 真穂	口腔腫瘍治療学(口腔外科学第一)	1,300,000	補助委 日本学術振興会
USを用いた高精度口腔癌リンパ節転移診断法の確立	榮田 智	歯科放射線学	600,000	補助委 日本学術振興会
組織常在CD34陽性細胞の分化機序を標的とした放射線性唾液腺萎縮症の治療薬の開発	井 隆司	顎口腔再生外科学(口腔外科学第二)	1,100,000	補助委 日本学術振興会
高機能細胞治療薬B-MNCを用いた放射線性顎骨壊死の治療法の確立	大場 誠悟	顎口腔再生外科学(口腔外科学第二)	1,200,000	補助委 日本学術振興会
軟食化と神経伝達異常が咀嚼・嚥下機能に及ぼす影響の解明とオーラルフレイル予防戦略	吉田 教明	矯正歯科(歯科矯正学)	1,300,000	補助委 日本学術振興会
歯根吸収抑制におけるcPLA2の役割ー硝子様変性と破歯細胞活性を標的にしてー	佛坂 齊社	矯正歯科(歯科矯正学)	1,700,000	補助委 日本学術振興会
「複数菌の病原性を抑えて混合感染症を制御する」に向けた試み	西口 美由季	小児歯科学	1,200,000	補助委 日本学術振興会
低濃度フッ化物を用いた放射線性う蝕予防に関する多施設共同第Ⅲ相試験	五月女 さき子	口腔保健学(予防歯科)	1,300,000	補助委 日本学術振興会
クリニカルパスの診療の質・安全及び病院経営に対する効果と適切な運用に関する研究	松本 武浩	医療情報学	1,000,000	補助委 日本学術振興会
皮下空洞菌球留置による慢性アスペルギルス症マウスモデルの開発	田代 将人	感染制御教育センター	800,000	補助委 日本学術振興会
家族性肺癌における新規ドライバー遺伝子の機能解析	朝重 耕一	腫瘍外科学(第一外科)	700,000	補助委 日本学術振興会
インターフェロン誘導性抗ウイルス因子の胎盤形成に及ぼす影響	泉田 真生	総合診療科	1,100,000	補助委 日本学術振興会
外傷性咬合による骨吸収への静止期破骨細胞前駆細胞の関与と血管内皮増殖因子の影響	山下 恭徳	歯周歯内治療学	800,000	補助委 日本学術振興会
インプラント周囲骨組織の荷重応答性カップリング因子誘発型骨質制御機構の解明	右藤 友督	口腔インプラント学(歯科補綴学第一)	1,300,000	補助委 日本学術振興会

小計 28件

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
弾性線維性仮性黄色腫患者における重症度および予後因子の研究	岩永 聡	皮膚科	1,600,000	補委 日本学術振興会
銀ナノ粒子担持加工技術を応用したアクリル系軟質リライン材への抗菌効果の付与	江越 貴文	歯科補綴学 (歯科補綴学第二)	900,000	補委 日本学術振興会
羊膜由来間葉系幹細胞における細胞接着メカニズムに基づいた骨芽細胞分化誘導法の開発	江頭 寿洋	顎口腔再生外科学 (口腔外科学第二)	1,100,000	補委 日本学術振興会
シングルセル解析手法を用いた骨髄間質細胞の機能の解明と骨再生療法への応用	松下 祐樹	口腔腫瘍治療学 (口腔外科学第一)	1,800,000	補委 日本学術振興会
DPP1は小児の根尖性歯周炎治療における指標となり得るか?	西俣 はるか	小児歯科学	1,600,000	補委 日本学術振興会
破骨細胞における細胞骨格を制御する新規因子の同定とその分子基盤の解明	楢原 春菜	歯科薬理学	1,000,000	補委 日本学術振興会
ポピドンヨードの口腔内塗布による呼吸器装着患者の肺炎予防	川北 晃子(宇田晃子)	口腔腫瘍治療学 (口腔外科学第一)	1,000,000	補委 日本学術振興会
顎口腔機能低下モデルを用いた若年層からの包括的オーラルフレイル予防戦略の検討	藤下 あゆみ	矯正歯科 (歯科矯正学)	1,800,000	補委 日本学術振興会
正常圧水頭症におけるグリンパティックシステム機能異常の解析	森本 芳郎	精神神経科学	900,000	補委 日本学術振興会
口腔粘膜上皮細胞シート移植による食道再生医療後の長期安全性評価基盤の構築	丸屋 安広	移植・消化器外科 (第二外科)	1,700,000	補委 日本学術振興会
投与細胞の若返りを目指した脳梗塞に対する幹細胞移植投与方法の確立	伊木 勇輔	脳神経外科	1,700,000	補委 日本学術振興会
立体的薬物動態システムを利用したがん細胞の薬物耐性変化のモニタリング	宮本 大輔	移植・消化器外科 (第二外科)	1,300,000	補委 日本学術振興会
新敗血症定義に準拠した敗血症総合検査システム構築と国内及び東南アジアへ運用展開	柳原 克紀	病態解析・診断学 (臨床検査医学)	600,000	補委 日本学術振興会
越境性大気中PM2.5結合ヒアルブミンの生体影響とその予防法の開発	尾長谷 靖	呼吸器内科 (第二内科)	50,000	補委 日本学術振興会
口腔癌頸部リンパ節転移被膜外浸潤進展度分類と進展メカニズムの分子細胞生物学的研究	梅田 正博	口腔外科学第一	10,000	補委 日本学術振興会
光を用いた非侵襲的かつ低コストで行える関節診断技術の開発	千葉 恒	整形外科	100,000	補委 日本学術振興会
自己免疫性自律神経節障害の「多様性」に関する多角的研究	川上 純	リウマチ・膠原病内科学 (第一内科)	100,000	補委 日本学術振興会
肝細胞/類洞/胆管を複合した新規肝再構築技術の創出	江口 晋	移植・消化器外科 (第二外科)	100,000	補委 日本学術振興会
細胞の社会的ふるまいを軸とした発生過程のロバストな器官サイズ決定機構の新展開	中畑 泰和	神経機能学 (第二生理)	500,000	補委 日本学術振興会
薬剤関連顎骨壊死の発症原因解明と発症予防法確立に向けた多施設共同前向き研究	梅田 正博	口腔外科学第一	50,000	補委 日本学術振興会
ベーチェット病のゲノムワイド亜型解析によるエビデンス創出とレジストリー構築	川上 純	リウマチ・膠原病内科学 (第一内科)	50,000	補委 日本学術振興会
ベーチェット病のゲノムワイド亜型解析によるエビデンス創出とレジストリー構築	古賀 智裕	リウマチ・膠原病内科学 (第一内科)	50,000	補委 日本学術振興会
環境中化学物質による気管支喘息症の中心的役割としてのエクソソームとそのmiRNA	尾長谷 靖	呼吸器内科 (第二内科)	200,000	補委 日本学術振興会
口腔常在菌による顕性肺炎発症機構の分子的解析と宿主リスク評価法	五月女 さき子	口腔保健学 (予防歯科)	50,000	補委 日本学術振興会
薬剤関連顎骨壊死の発症原因解明と発症予防法確立に向けた多施設共同前向き研究	五月女 さき子	口腔保健学 (予防歯科)	50,000	補委 日本学術振興会
フェレット癒痕声帯線維芽細胞に対するプロスタグランジンE2の効果に関する研究	熊井 良彦	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	850,000	補委 日本学術振興会
自己炎症疾患の発作の周期性や炎症の多様性を規定する責任分子群の包括的同定	川上 純	リウマチ・膠原病内科学 (第一内科)	100,000	補委 日本学術振興会
自己炎症疾患の発作の周期性や炎症の多様性を規定する責任分子群の包括的同定	古賀 智裕	リウマチ・膠原病内科学 (第一内科)	100,000	補委 日本学術振興会

小計 28件

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
骨吸収抑制薬関連顎骨壊死の免疫機能解析と予防治療法の展開	黒嶋 伸一郎	口腔インプラント学 (歯科補綴学第一)	70,000	③ 日本学術振興会
心臓モデリングにおける抗線維化マクロファージの機能解析	前村 浩二	循環器内科	200,000	③ 日本学術振興会
食品基礎科学を応用した新規咀嚼機能評価法の開発とオーラルフレイルへの波及効果	梅田 正博	口腔外科学第一	30,000	③ 日本学術振興会
「咳嗽・喀痰の診療ガイドライン2019」喀痰総論の改訂に向けたエビデンスの構築	迎 寛	呼吸器内科 (第二内科)	100,000	③ 日本学術振興会
ペリリンフラマソーム活性化メカニズムの解明とその制御法の開発	古賀 智裕	リウマチ・膠原病内科学 (第一内科)	50,000	③ 日本学術振興会
下顎無歯顎に適用する軟質リライン材の臨床効果-多施設ランダム化比較試験-	村田 比呂司	歯科補綴学 (歯科補綴学第二)	150,000	③ 日本学術振興会
大規模コホート研究による口腔機能低下症の新規検査法開発研究	澤瀬 隆	口腔インプラント学 (歯科補綴学第一)	2,200,000	③ 日本学術振興会
マイクロ流体デバイスを用いた血中循環がん細胞クラスター抽出法の開発	住田 吉慶	細胞生物学	200,000	③ 日本学術振興会
Ex vivo再生肺創出への生理的刺激の最適化と国際基礎的研究ネットワークの構築	土谷 智史	腫瘍外科学 (第一外科)	2,500,000	③ 日本学術振興会
生体肝移植後患者に対する電気刺激療法及びBCAA製剤内服によるランダム化比較試験	原口 雅史	消化器内科	1,200,000	③ 日本学術振興会
食品を介したダイオキシン類等の人体への影響の把握とその治療法の開発等に関する研究	上松 聖典	眼科	700,000	③ 厚生労働省
HAMならびに類縁疾患の患者レジストリを介した診療連携モデル構築によるガイドラインの活用促進の医療水準の均てん化に関する研究	松尾 朋博	泌尿器科・腎移植外科	350,000	③ 厚生労働省
地域医療構想を見据えた救急医療提供体制の構築に関する研究	高山 隼人	地域医療支援センター	200,000	③ 厚生労働省
自己免疫疾患に関する調査研究	中村 英樹	リウマチ・膠原病内科 (第一内科)	200,000	③ 厚生労働省
血液製剤によるHIV/HCV重複感染患者の肝移植に関する研究	江口 晋	移植・消化器外科学	24,000,000	③ 厚生労働省
キャスルマン病、TAFRO症候群、類縁疾患の診療ガイドラインの策定や更なる改良に向けた国際的な総意形成を踏まえた調査研究	川上 純	リウマチ・膠原病内科学	8,999,000	③ 厚生労働省
無症状及び軽症COVID-19患者に対するネルフィナビルの有効性及び安全性を探索するランダム化非盲検並行群間比較試験	宮崎 泰可	臨床感染症学	81,726,000	③ 厚生労働省
非加熱血液凝固因子製剤によるHIV感染血友病等患者の長期療養体制の構築に関する患者参加型研究	江口 晋	移植・消化器外科学	6,500,000	③ 厚生労働省
自己免疫疾患に関する調査研究	川上 純	リウマチ・膠原病内科学	1,000,000	③ 厚生労働省
HAMならびに類縁疾患の患者レジストリを介した診療連携モデルの構築によるガイドラインの活用促進と医療水準の均てん化に関する研究	川上 純	リウマチ・膠原病内科学	350,000	③ 厚生労働省
自己炎症性疾患とその類縁疾患の全国診療体制整備、移行医療体制の構築、診療ガイドライン確立に関する研究	川上 純	リウマチ・膠原病内科学	600,000	③ 厚生労働省
特発性大腿骨頭壊死症の医療水準及び患者QOL向上に資する大規模多施設研究	尾崎 誠	整形外科	100,000	③ 厚生労働省
HTLV-1母子感染対策および支援体制の課題の検討と対策に関する研究	森内 浩幸	小児科学	600,000	③ 厚生労働省
稀少難治性皮膚疾患に関する調査研究	室田 浩之	皮膚病態学	500,000	③ 厚生労働省
食品を介したダイオキシン類等の人体への影響の把握とその治療法の開発等に関する研究	室田 浩之	皮膚病態学	3,710,000	③ 厚生労働省
プリオン病のサーベイランスと感染予防に関する調査研究	佐藤 克也	保健学専攻 作業療法学分野	4,000,000	③ 厚生労働省
プリオン病及び遅発性ウイルス感染症に関する調査研究班	佐藤 克也	保健学専攻 作業療法学分野	800,000	③ 厚生労働省
間脳下垂体機能障害に関する調査研究	伊達木 澄人	小児科学	200,000	③ 厚生労働省

小計 28件

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
びまん性肺疾患に関する調査研究	福岡 順也	病理学	300,000	補委 厚生労働省
先天異常症候群のライフステージ全体の自然歴と合併症の把握: Reverse phenotypingを包含したアプローチ	吉浦 孝一郎	原研遺伝	950,000	補委 厚生労働省
特発性造血障害に関する調査研究	宮崎 泰司	原研内科	500,000	補委 厚生労働省
新型コロナウイルス感染症に対する院内および施設内感染対策の確立に向けた研究	柳原 克紀	臨床検査医学	1,500,000	補委 厚生労働省
新型コロナウイルスの小児への影響の解明のための研究	森内 浩幸	小児科学	250,000	補委 厚生労働省
筋ジストロフィーの標準的医療普及のための調査研究	吉浦 孝一郎	原研遺伝	600,000	補委 厚生労働省
COVID-19感染回復後の後遺障害の実態調査	迎 寛	呼吸器内科学	200,000	補委 厚生労働省
新型コロナウイルス感染症への対応を踏まえた地域における歯科医療提供体制の強化のための研究	澤瀬 隆	口腔インプラント学	1,426,000	補委 厚生労働省
循環器病に関する適切な情報提供・相談支援のための方策と体制等の効果的な展開に向けた研究	前村 浩二	循環器内科学	200,000	補委 厚生労働省
負電荷ナノ粒子による標的化DDSプラットフォームの構築	佐々木 均	薬剤部	39,000,000	補委 国立研究開発法人科学技術振興機構
二重盲検比較試験の実施、継続試験の実施、評価及び長期安全性情報のPMDA提出	川上 純	リウマチ・膠原病内科学	78,000,000	補委 日本医療研究開発機構
表在性非乳頭部十二指腸腫瘍に対する内視鏡治療と腹腔鏡手術と再生医療を組み合わせた革新的な術式の開発	金高 賢悟	消化器再生医療学講座	38,880,400	補委 日本医療研究開発機構
t(8;21)およびinv(16)陽性AYA・若年成人急性骨髄性白血病に対する微小残存病変を指標とするゲムツズマブ・オノガマイシン治療介入の有効性と安全性を評価する研究	宮崎 泰司	原爆・ヒバクシャ医療	19,500,000	補委 日本医療研究開発機構
未診断疾患イニシアチブ (Initiative on Rare and Undiagnosed Disease(IRUD)): 希少未診断疾患に対する診断プログラムの開発に関する研究	吉浦 孝一郎	ゲノム機能解析	9,100,000	補委 日本医療研究開発機構
診療連携・国際連携をも視野にいた、生活習慣病、CKDの診療の質向上に直結する多施設長期コホート研究	西野 友哉	腎臓内科	390,000	補委 日本医療研究開発機構
低線量CTによる肺がん検診の実用化を目指した無作為化比較試験研究	芦澤 和人	臨床腫瘍学	520,000	補委 日本医療研究開発機構
HAM・HTLV-1陽性難治性疾患の診療ガイドラインに資する統合的レジストリの構築によるエビデンスの創出	川上 純	リウマチ・膠原病内科学	975,000	補委 日本医療研究開発機構
超高感度尿中微量蛋白質解析技術を用いた肺癌と膵臓癌の新規早期診断マーカー開発研究	迎 寛	呼吸器内科学	520,000	補委 日本医療研究開発機構
症候性先天性サイトメガロウイルス感染症を対象としたバルガンシクロビル治療の開発研究	森内 浩幸	小児科学	390,000	補委 日本医療研究開発機構
乱用防止に資する医薬品の開発のための製剤学的アプローチに関する研究	佐々木 均	薬剤部	1,040,000	補委 日本医療研究開発機構
誘導型抑制性T細胞を用いた臓器移植における免疫寛容誘導を目指した第1/2相多施設共同医師主導治験	江口 晋	移植・消化器外科学	3,445,000	補委 日本医療研究開発機構
低分子化合物によるヒト肝前駆細胞を用いた肝硬変治療	長井 一浩	移植・消化器外科学	1,300,000	補委 日本医療研究開発機構
ベッカー型筋ジストロフィーの自然歴調査に基づく予防医学に向けたエビデンスの創出研究	里 龍晴	小児科	195,000	補委 日本医療研究開発機構
脳脊髄液減少症の病態生理と診断法の開発	里 龍晴	小児科	200,000	補委 日本医療研究開発機構
成人T細胞白血病/リンパ腫の治療を目指したHTLV-1ウイルス標的樹状細胞ワクチン療法の確立: 薬事承認を目的とした第II相医師主導治験	今泉 芳孝	原爆・ヒバクシャ医療	1,690,000	補委 日本医療研究開発機構
成人T細胞白血病に対する移植後シクロフォスファミドを用いた非血縁者間末梢血幹細胞移植法の確立と移植後再発への対策に関する研究	澤山 靖	血液内科	390,000	補委 日本医療研究開発機構
高齢者急性骨髄性白血病の化学療法が可能な症例に対して若年成人標準化学療法の近似用量を用いる第II相臨床試験: JALSG-GML219試験	宮崎 泰司	原爆・ヒバクシャ医療	1,300,000	補委 日本医療研究開発機構
HTLV-1の総合的な感染対策に資する研究	長谷川 寛雄	臨床検査科	1,000,000	補委 日本医療研究開発機構

小計 28件

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
難治性食道癌におけるPrecision Medicineに資する診断技術開発に関する研究	松島 加代子	医療教育開発センター(医科)	260,000	補委 日本医療研究開発機構
COVID-19に対するmRNA吸入ワクチン開発	佐々木 均	薬剤部	45,500,000	補委 日本医療研究開発機構
軽度呼吸不全を呈するCOVID-19肺炎患者に対するファビピラビル/ステロイド併用療法の実施共同第II相試験	迎 寛	呼吸器内科学	650,000	補委 日本医療研究開発機構
Roles of T follicular helper cells and tissue resident memory cells of mucosal immunity in COVID-19 disease severity	山本 和子	呼吸器内科	4,550,000	補委 日本医療研究開発機構
シーズ探索研究から発展する家族性地中海熱(FMF)に対するトシリズマブの医師主導治験	川上 純	リウマチ・膠原病内科学	15,990,000	補委 日本医療研究開発機構
プリオン病の早期診断基準の作成を目指した新たなエビデンス創出とその検証に用いる遺伝性プリオン病未発症例の臨床調査と画像・生体材料の収集	佐藤 克也	保健科学分野	14,079,000	補委 日本医療研究開発機構
薬剤耐性真菌対策を含めた侵襲性真菌症の革新的検査と治療法に関する研究開発	河野 茂	第二内科	8,620,001	補委 日本医療研究開発機構
低分子化合物によるヒト肝前駆細胞を用いた肝硬変治療	江口 晋	移植・消化器外科学	33,800,000	補委 日本医療研究開発機構
薬剤耐性菌対策に資する診断法・治療法等の開発研究	柳原 克紀	病態解析・診断学	17,550,000	補委 日本医療研究開発機構
ART早期化と長期化に伴う日和見感染症への対処に関する研究	泉川 公一	臨床感染症学	1,800,000	補委 日本医療研究開発機構
抗HTLV-1免疫グロブリンによるHTLV-1感染・発症予防法の開発に関する研究	森内 浩幸	小児科学	650,000	補委 日本医療研究開発機構
循環器病に関する適切な情報提供・相談支援のための方策と体制等の効果的な展開に向けた研究	前村 浩二	循環器内科学	130,000	補委 日本医療研究開発機構
重症熱性血小板減少症候群(SFTS)の対策に資する開発研究	泉川 公一	臨床感染症学	2,600,000	補委 日本医療研究開発機構
C型肝炎ウイルス排除治療による肝硬変患者のアウトカムに関する研究開発	中尾 一彦	消化器内科学	1,170,000	補委 日本医療研究開発機構
母子感染によるリスク評価や予防法を含む母子保健体制構築と技術開発研究	森内 浩幸	小児科学	962,000	補委 日本医療研究開発機構
母子感染によるリスク評価や予防法を含む母子保健体制構築と技術開発研究	三浦 清徳	産科婦人科学	481,000	補委 日本医療研究開発機構
アレルギー性皮膚疾患の病態における発汗異常の解明と治療法の開発	室田 浩之	皮膚病態学	2,600,000	補委 日本医療研究開発機構
レビー小体型認知症(DLB)の病原性蛋白質 α シヌクレインの新規診断・治療効果判定法の開発	佐藤 克也	保健科学分野	3,000,000	補委 日本医療研究開発機構
嚥下障害患者の安全な経口摂取を支援する咽喉頭感覚評価法の研究	熊井 良彦	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	208,000	補委 日本医療研究開発機構
特発性間質性肺炎の前向きレジストリの構築とインタラクティブMDX診断システムを用いた診断標準化に基づく疫学データの創出—人工知能(AI)診断システムと新規バイオマーカーの開発—	福岡 順也	病理学	250,000	補委 日本医療研究開発機構
HTLV-1の総合的な感染対策に資する研究	三浦 清徳	産科婦人科学	2,300,000	補委 日本医療研究開発機構
肝硬変患者のQOLの向上及び予後改善に資する研究	中尾 一彦	消化器内科学	390,000	補委 日本医療研究開発機構
高解像度3次元イメージングによる特発性後天性全身性無汗症の神経病態解析	室田 浩之	皮膚病態学	1,950,000	補委 日本医療研究開発機構
侵襲性酵母様真菌感染症に対する疫学研究及び診断・治療法の開発	泉川 公一	臨床感染症学	1,300,000	補委 日本医療研究開発機構
感染症等で隔離された宿泊療養での病院搬送の判定・早期治療に繋げるDtoNtoPの遠隔モニタリングシステム等の開発研究	青柳 潔	公衆衛生学	650,000	補委 日本医療研究開発機構
真に個別患者の診療に役立ち領域横断的に高い拡張性を有する変異・多型情報データベースの創成	吉浦 孝一郎	人類遺伝学	2,080,000	補委 日本医療研究開発機構
致死性不整脈の原因心筋イオンチャネル遺伝子に同定されるVUSのハイスループット機能評価法に関する研究開発	吉浦 孝一郎	人類遺伝学	650,000	補委 日本医療研究開発機構
精緻エピゲノム解析技術開発とIRUD未解明症例への応用	吉浦 孝一郎	人類遺伝学	3,250,000	補委 日本医療研究開発機構

小計 28件

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
大規模シーケンス解析に基づく、造血器腫瘍のゲノム、エピゲノムにおける、空間的・時間的多様性の研究	宮崎 泰司	血液内科学研究分野	3,230,000	補 委 日本医療研究開発機構
PDX治療モデルを併用した治療抵抗性急性骨髄性白血病クローンの成立過程に生じる分子病態に基づく層別化システムの確立と標的治療薬開発に関する研究	宮崎 泰司	血液内科学研究分野	2,340,000	補 委 日本医療研究開発機構
COVID-19定量的スクリーニング(抗原・抗体検査)検査法の基盤開発	柳原 克紀	病態解析・診断学	20,000,000	補 委 日本医療研究開発機構
Semi-dry dot-blot (SDB)法を応用した新規乳癌リンパ節転移診断キット及び自動判定イムノクロマトリーダの開発・検証	永安 武	腫瘍外科学分野	60,404,000	補 委 日本医療研究開発機構
切除不能肝細胞癌に対するレンパチニブ投与中の外科的切除可能性の検討(多施設共同臨床研究) LENS-HCC	江口 晋	移植・消化器外科学	440,000	補 委 公益財団法人パブリックヘルスリサーチセンター
StageⅢ結腸癌治療切除例に対する術後補助化学療法としてのmFOLFOX6療法またはXELOX療法における5-FU系抗がん剤およびオキサリプラチンの至適投与期間に関するランダム化第Ⅲ相比較臨床試験ACHIEVE Trial (JFMC47-1202-C3)	野中 隆	大腸・肛門外科(第一外科)	33,000	補 委 公益財団法人がん集学的治療研究財団
呼吸器悪性腫瘍に対する薬物療法を含む標準治療確立のための多施設共同研究	山口 博之	呼吸器内科	300,000	補 委 国立研究開発法人国立がん研究センター
「生体弁置換術後心房細動患者の抗血栓療法に関するレジストリー」(前向き観察研究)	江石 清行	心臓血管外科学	2,203,200	補 委 国立研究開発法人国立循環器病研究センター
非弁膜症性心房細動とアテローム血栓症を合併する脳梗塞例の二次予防における最適な抗血栓療法に関する多施設共同ランダム化比較試験(略称ATIS-NVAF)	立石 洋平	脳神経内科	22,000	補 委 独立行政法人国立病院機構大阪医療センター
低身長を伴った思春期早発症例における遺伝学的原因および臨床像の検討	伊達木 澄人	小児科学	20,000	補 委 国立研究開発法人国立成育医療研究センター
正解候補選択機構の研究開発および臨床学的検討	福岡 順也	病理学	56,597,000	補 委 産業技術総合研究所
間質性肺炎に対する多施設共同前向き観察研究	福岡 順也	病理学	20,118,000	補 委 名古屋大学
障がい児のう蝕・歯周疾患等の歯科健診及びその評価と、障がい児のう蝕・歯周疾患等の予防に関する研究	藤原 卓	小児歯科学	305,000	補 委 佐世保市
「住み続けたい」を支える離島・へき地医療サポートモデルの構築	前田 隆浩	総合診療学	7,800,000	補 委 国立研究開発法人科学技術振興機構
令和2年度 スマートアイランド推進実証調査業務(五島市)	前田 隆浩	総合診療学	1,287,854	補 委 五島市
胃癌の微量生検組織を用いたDNA修復能・がん抗原性解析による抗がん剤治療の最適化	益谷 美都子	分子標的医学	500,000	補 委 国立研究開発法人国立国際医療研究センター
聴覚障害児支援中核機能モデル事業	吉田 晴郎	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	12,000,000	補 委 長崎県
電子カルテ情報活用型多施設症例データベースを利用した糖尿病に関する臨床情報収集に関する研究(J-DREAMS)	阿比留 教生	リウマチ・膠原病内科学	300,000	補 委 国立研究開発法人国立国際医療研究センター
地域周産期医療体制等の確保の促進に関する調査研究	三浦 清徳	産科婦人科学	11,000,000	補 委 佐賀県
				補 委

小計 19件
計 296件

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	Chiba K., Suetoshi R., Crestin D. 他	整形外科	Development of a QUS Device to Evaluate Deterioration of Cortical Bone: Verification by HR-pQCT and Measurements in Healthy Individuals and Dialysis Patients	J Clin Densitom. 2021 Jan-Mar;24(1):84-105. doi: 10.1016/j.jocd.2020.02.002. Epub 2020 Feb 18.	Original Article
2	Kuba S., Maeda S., Matsumoto M. 他	移植・消化器外科	Optimal tumor reduction rate and modalities for predicting pCR in women with breast cancer	Anticancer Res. 2020 Apr;40(4):2303-2309. doi: 10.21873/anticancer.14196.	Original Article
3	Miyama S., Miyamoto J., Taura N. 他	消化器内科	Influence of interferon-free direct-acting antiviral therapy on primary hepatocellular carcinoma recurrence: A landmark time analysis and time-dependent extended cox proportional hazards model analysis	Intern Med. 2020;59(7):901-907. doi: 10.2169/internalmedicine.3382-19. Epub 2020 Apr 1.	Original Article
4	Umeda M., Origuchi T., Kawashiri S.-Y. 他	第一内科	Thymus and Activation-regulated Chemokine as a Biomarker for IgG4-related Disease	Sci Rep. 2020 Apr 7;10(1):6010. doi: 10.1038/s41598-020-62041-9.	Original Article
5	Kaku N., Matsumoto N., Sasaki D. 他	検査部	Effect of probiotics on gut microbiome in patients with administration of surgical antibiotic prophylaxis: A randomized controlled study	J Infect Chemother. 2020 Aug;26(8):795-801. doi: 10.1016/j.jiac.2020.03.008. Epub 2020 Apr 10.	Original Article
6	Imamura A., Morimoto Y., Ono S. 他	精神科神経科	Genetic and environmental factors of schizophrenia and autism spectrum disorder: insights from twin studies	J Neural Transm (Vienna). 2020 Nov;127(11):1501-1515. doi: 10.1007/s00702-020-02188-w. Epub 2020 Apr 13.	Review
7	Takenaka M., Murota H., Nishimoto K. 他	皮膚科・アレルギー科	Epidemiological survey of 427403 dermatophytosis cases examined at Nagasaki University Hospital from 1966 to 2015	J Dermatol. 2020 Jun;47(6):615-621. doi: 10.1111/1316-8138.15340. Epub 2020 Apr 15.	Original Article
8	Inoue D., Mohamed Y.H., Uematsu M. 他	眼科	Corneal damage and its recovery after instillation of preservative-free versus preserved latanoprost eye drops	Cutan Ocul Toxicol. 2020 Jun;39(2):158-164. doi: 10.1080/15569527.2020.1752228. Epub 2020 Apr 16.	Original Article
9	Nonaka T., Tamisaga T., Akazawa Y. 他	耳鼻科	A novel technique of securing a clear surgical space using a silicone disc during transanal total mesorectal excision	Tech Coloproctol. 2020 Aug;24(8):895-896. doi: 10.1007/s10151-020-02223-8. Epub 2020 Apr 17.	Original Article
10	Shima T., Tsujino S., Yamashita K. 他	第一内科	Neuromyelitis optica spectrum disorder complicated by posterior reversible encephalopathy syndrome as an initial manifestation	Intern Med. 2020 Aug 1;59(15):1887-1890. doi: 10.2169/internalmedicine.4226-19. Epub 2020 Apr 23.	Original Article
11	Kawano H., Ishimatsu T., Kawamura K. 他	循環器内科	Pathological features of lamin cardiomyopathy	Circ J. 2020 Jun 25;84(7):1193. doi: 10.1253/circj.CJ-20-0187. Epub 2020 Apr 25.	Original Article
12	Kawano H., Kinoshita N., Izumida S. 他	循環器内科	Myocarditis in a patient with clinically amyopathic dermatomyositis	Circ J. 2020 Jun 25;84(7):1194. doi: 10.1253/circj.CJ-19-1046. Epub 2020 Apr 25.	Original Article
13	Kuba S., Yamanouchi K., Morito M. 他	移植・消化器外科	The efficacy of software to help patients understand drug for adjuvant treatment for breast cancer: A pilot randomized controlled trial	Acta Med Okayama. 2020 Apr;74(2):95-101. doi: 10.18926/AMO/58266.	Original Article
14	Izumida S., Kawano H., Tsuneto A. 他	循環器内科	Pulmonary artery aneurysm associated with bicuspid pulmonary valve	Intern Med. 2020 Aug 1;59(15):1867-1871. doi: 10.2169/internalmedicine.4415-20. Epub 2020 Apr 30.	Original Article
15	Hashiguchi K., Maruya Y., Matsumoto R. 他	消化器内科	Establishment of an in-vivo porcine delayed perforation model after duodenal endoscopic submucosal dissection	Dig Endosc. 2021 Mar;33(3):381-389. doi: 10.1111/den.13710. Epub 2020 Jun 22.	Original Article
16	Koga T., Sumiyoshi R., Furukawa K. 他	第一内科	Interleukin-18 and fibroblast growth factor 2 in combination is a useful diagnostic biomarker to distinguish adult-onset Still's disease from sepsis	Arthritis Res Ther. 2020 May 7;22(1):108. doi: 10.1186/s13075-020-02260-4.	Original Article
17	Murota H., Inoue S., Yoshida K. 他	皮膚科・アレルギー科	Cost of illness study for adult atopic dermatitis in Japan: A cross-sectional Web-based survey	J Dermatol. 2020 Jul;47(7):689-698. doi: 10.1111/1346-8138.15366. Epub 2020 May 7.	Original Article
18	Morimoto Y., Ono S., Kurotaki N. 他	精神科神経科	Genetic and epigenetic analyses of panic disorder in the post-GWAS era	J Neural Transm (Vienna). 2020 Nov;127(11):1517-1526. doi: 10.1007/s00702-020-02205-y. Epub 2020 May 9.	Review
19	Yamamoto K., Ando K., Tanaka M. 他	第二内科	A 71-Year-Old Man With Dyspnea and Cough During Chemotherapy	Chest. 2020 May;157(5):e165-e171. doi: 10.1016/j.chest.2019.12.008.	Original Article
20	Endo Y., Kawashiri S.-Y., Morimoto S. 他	第一内科	Non-TNF inhibitor switchers versus TNF inhibitor cyclers from multicentre rheumatoid arthritis ultrasonography prospective cohort in Japan	Immunol Med. 2020 Sep;43(3):115-120. doi: 10.1080/25785826.2020.1757920. Epub 2020 May 12.	Original Article
21	Endo Y., Funakoshi Y., Koga T. 他	第一内科	Letter to the Editor (Case report)	Rheumatology (Oxford). 2020 Nov 1;59(11):e85-e87. doi: 10.1093/rheumatology/raaa206.	Letter
22	Fujita S., Sumi M., Tatsukawa E. 他	口腔病理学	Expressions of extracellular matrix-remodeling factors in lymph nodes from oral cancer patients	Oral Dis. 2020 Oct;26(7):1424-1431. doi: 10.1111/odi.13419. Epub 2020 Jun 4.	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
23	Adachi T., Adachi T., Nakagaki T., 他	移植・消化器外科	Difference in driver gene expression patterns between perihilar and peripheral intrahepatic cholangiocarcinomas in an experimental mouse model	J Hepatobiliary Pancreat Sci. 2020 Aug;27(8):477-486. doi: 10.1002/jhbp.772. Epub 2020 Jul 13.	Original Article
24	Miyata Y., Matsuo T., Mitsunari K., 他	泌尿器科・腎移植外科	Effectiveness of cooperative treatment using community medical systems and healthcare services for second-line therapy in advanced urothelial cancer patients: Impact on survival	Hinyokika Kiyo. 2020 Apr;66(4):107-113. doi: 10.14989/ActaUroJap.66.4.107.	Original Article
25	Koike Y., Kowatsuka S., Nishimoto K., 他	皮膚科・アレルギー科	Skin mycobiome of psoriasis patients is retained during treatment with TNF and IL-17 inhibitors	Int J Mol Sci. 2020 May 29;21(11):3892. doi: 10.3390/ijms21113892.	Original Article
26	Okawa M., Hanada M., Nagura H., 他	集中治療部	Factors Influencing Functional Exercise Capacity After Lung Resection for Non-Small Cell Lung Cancer	Integr Cancer Ther. 2020 Jan-Dec;19:1534735420923380. doi: 10.1177/1534735420923389.	Original Article
27	Takekawa M., Murota H., Nishimoto K.	皮膚科・アレルギー科	Subcutaneous phaeohyphomycosis due to Exophiala jeanselmei following renal transplantation: A case report with a published work review of phaeohyphomycosis in Japan	J Dermatol. 2020 Sep;47(9):1050-1053. doi: 10.1111/1346-8138.15420. Epub 2020 Jun 8.	Original Article
28	Yokota K., Chiba K., Okazaki N., 他	整形外科	Deterioration of bone microstructure by aging and menopause in Japanese healthy women: analysis by HR-pQCT	J Bone Miner Metab. 2020 Nov;38(6):826-838. doi: 10.1007/s00774-020-01118-z. Epub 2020 Jun 9.	Original Article
29	Eguchi S., Hidaka M., Natsuda K., 他	移植・消化器外科	Simultaneous Deceased Donor Liver and Kidney Transplantation in a Human Immunodeficiency Virus/Hepatitis C Virus-Coinfected Patient With Hemophilia in Japan: A Case Report	Transplant Proc. 2020 Nov;52(9):2786-2789. doi: 10.1016/j.transproceed.2020.05.005. Epub 2020 May 14.	Original Article
30	Ohase K., Kojima S., Nakaji S., 他	心臓血管外科	Aortic regurgitation resulted from traumatic leaflet tear due to calcified amorphous tumour	Eur Heart J Cardiovasc Imaging. 2020 Dec 1;21(12):1431. doi: 10.1093/ehjci/jeaa124.	Original Article
31	Matsumoto K., Sato S., Okumura M., 他	呼吸器外科	Left upper lobectomy is a risk factor for cerebral infarction after pulmonary resection: a multicentre, retrospective, case-control study in Japan	Surg Today. 2020 Nov;50(11):1383-1392. doi: 10.1007/s00595-020-02032-1. Epub 2020 Jun 17.	Original Article
32	Eguchi S., Soyama A., Hara T., 他	移植・消化器外科	Packing procedure effective for liver transplantation in hemophilic patients with HIV/HCV coinfection	Surg Today. 2020 Oct;50(10):1314-1317. doi: 10.1007/s00595-020-02051-1. Epub 2020 Jun 22.	Original Article
33	Seino M., Okada K., Funakoshi H., 他	麻酔科	Association between Enterocyte Injury and Mortality in Patients on Hemodialysis Who Underwent Cardiac Surgery: An Exploratory Study	J Surg Res. 2020 Nov;255:420-427. doi: 10.1016/j.jss.2020.05.091. Epub 2020 Jun 30.	Original Article
34	Izumida M., Hayashi H., Tanaka A., 他	熱研内科	Cathepsin B Protease Facilitates Chikungunya Virus Envelope Protein-Mediated Infection via Endocytosis or Macropinocytosis	Viruses. 2020 Jul 3;12(7):722. doi: 10.3390/v12070722.	Original Article
35	Dateki S., Kawamura H., Watanabe S., 他	小児科	Efficacy and safety of denosumab treatment in a prepubertal patient with cherubism	J Pediatr Endocrinol Metab. 2020 Jul 28;33(7):963-966. doi: 10.1515/jpem-2019-0581.	Original Article
36	Kawashiri S.-Y., Endo Y., Okamoto M., 他	第一内科	Contributing factors of clinical outcomes at 1 year post-diagnosis in early rheumatoid arthritis patients with tightly controlled disease activity in clinical practice: a retrospective study	Mod Rheumatol. 2021 Mar;31(2):343-349. doi: 10.1080/14397595.2020.1795392. Epub 2020 Jul 31.	Original Article
37	Tsuji K., Kitamura M., Muta K., 他	第二内科	Transplantation of a kidney with a heterozygous mutation in the SLC22A12 (URAT1) gene causing renal hypouricemia: A case report	BMC Nephrol. 2020 Jul 16;21(1):282. doi: 10.1186/s12882-020-01940-4.	Original Article
38	Shimizu T., Koga T., Furukawa K., 他	第一内科	IL-15 is a biomarker involved in the development of rapidly progressive interstitial lung disease complicated with polymyositis/dermatomyositis	J Intern Med. 2021 Feb;289(2):206-220. doi: 10.1111/joim.13154. Epub 2020 Jul 21.	Original Article
39	Ichinose K., Kitamura M., Sato S., 他	第一内科	Comparison of complete renal response and mortality in early- and late-onset lupus nephritis: A multicenter retrospective study of a Japanese cohort	Arthritis Res Ther. 2020 Jul 22;22(1):175. doi: 10.1186/s13075-020-02271-3.	Original Article
40	Yamanashi H., Nobusue K., Nonaka F., 他	熱研内科	Human T-cell lymphotropic virus type-1 infection associated with sarcopenia: Community-based cross-sectional study in Goto, Japan	Aging (Albany NY). 2020 Jul 24;12(15):15504-15513. doi: 10.18632/aging.103736. Epub 2020 Jul 24.	Original Article
41	Kawano H., Iyama K., Abe K., 他	循環器内科	A case of chronic myocarditis	Pathol Int. 2020 Oct;70(10):793-797. doi: 10.1111/pin.12989. Epub 2020 Jul 27.	Original Article
42	Fukushima M., Miyaaki H., Sasaki R., 他	消化器内科	Inferior vena cava anomalies with portal vein system continuation presenting as portal hypertension with a long-term follow-up	Intern Med. 2020 Nov 15;59(22):2897-2901. doi: 10.2169/INTERNALMEDICINE.4956-20. Epub 2020 Jul 21.	Original Article
43	Kitayama M., Akazawa Y., Yoshikawa D., 他	消化器内科	Comparative efficacy of anti-tumor necrosis factor agents and tocilizumab in naive steroid-refractory ulcerative colitis patients	Sci Rep. 2020 Jul 27;10(1):12546. doi: 10.1038/s41598-020-68828-z.	Original Article
44	Endo Y., Koga T., Umeda M., 他	第一内科	Successful canakinumab treatment for activated innate response in idiopathic Castleman's disease with multiple heterozygous MEIPV exon 2 variants	Clin Immunol. 2020 Oct;219:108547. doi: 10.1016/j.clim.2020.108547. Epub 2020 Jul 29.	Letter
45	Shimizu T., Kawashiri S.-Y., Sato S., 他	第一内科	Discontinuation of biosimilar infliximab in Japanese patients with rheumatoid arthritis achieving sustained clinical remission or low disease activity during the IFX-SIRIUS STUDY I (the IFX-SIRIUS STUDY II): Study protocol for an interventional, multicenter, open-label, single-arm clinical trial with clinical, ultrasound and biomarker assessments	Medicine (Baltimore). 2020 Aug 7;99(32):e21180. doi: 10.1097/MD.00000000000021180.	Original Article
46	Koga T., Hagimori N., Takemori S., 他	第一内科	Randomized, double-blind, placebo-controlled, parallel-group trial of sirolimus for tocilizumab-resistant idiopathic multicentric Castleman disease: Study protocol for clinical trial	Medicine (Baltimore). 2020 Jul 23;99(30):e20710. doi: 10.1097/MD.00000000000020710.	Original Article
47	Kawashiri S.-Y., Shimizu T., Sato S., 他	第一内科	Switching from originator infliximab to biosimilar infliximab in Japanese patients with rheumatoid arthritis achieving clinical remission (the IFX-SIRIUS study II): Study protocol for an interventional, multicenter, open-label, single-arm and noninferiority clinical trial with clinical, ultrasound, and biomarker assessments	Medicine (Baltimore). 2020 Jul 24;99(30):e21151. doi: 10.1097/MD.00000000000021151.	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
48	Nonaka T., Tomimaga T., Akazawa Y., 他	腫瘍外科	Feasibility of laparoscopic-assisted transanal pelvic exenteration in locally advanced rectal cancer with anterior invasion	Tech Coloproctol. 2021 Jan;25(1):69-74. doi: 10.1007/s10151-020-02324-4. Epub 2020 Aug 19.	Original Article
49	Endo Y., Koga T., Otsaki H., 他	第一内科	Idiopathic multicentric Castleman disease with novel heterozygous Ile726Met mutation in exon 10 of familial Mediterranean fever gene	Rheumatology (Oxford). 2021 Jan 5;60(1):445-450. doi: 10.1093/rheumatology/keaa269.	Original Article
50	Minami T., Kawano H., Sato D., 他	循環器内科	Evaluation of echocardiographic parameters in Japanese patients aged over 90 years at a single institution	J Med Ultrason (2001). 2020 Oct;47(4):555-563. doi: 10.1007/s10396-020-01036-4. Epub 2020 Aug 27.	Original Article
51	Kawano H., Kudo T., Marmura K.	循環器内科	[23i-β-Methyl iodophenyl pentadecanoic acid and 201thallium dual myocardial single-photon emission computed tomography (BMIPP/Tl SPECT) detection of myocardial damage of systemic sclerosis	Circ J. 2020 Sep 25;84(10):1886. doi: 10.1253/circj.CJ-20-0516. Epub 2020 Aug 25.	Original Article
52	Koga T., Endo Y., Umeda M., 他	第一内科	Reduction in the percentage of circulating variable delta 2 T cells in systemic lupus erythematosus	Clin Immunol. 2020 Nov;220:108577. doi: 10.1016/j.clim.2020.108577. Epub 2020 Aug 26.	Letter
53	Ota K., Kaku N., Yonagihara K.	検査部	Efficacy of meropenem and amikacin combination therapy against carbapenemase-producing Klebsiella pneumoniae mouse model of pneumonia	J Infect Chemother. 2020 Dec;26(12):1237-1243. doi: 10.1016/j.jiac.2020.07.002. Epub 2020 Aug 28.	Original Article
54	Endo Y., Koga T., Kawashiri S.-Y., 他	第一内科	Significance of anti-Ro/SSA antibodies in the response and retention of absetcept in patients with rheumatoid arthritis: a multicentre cohort study	Scand J Rheumatol. 2021 Jan;50(1):15-19. doi: 10.1080/03009742.2020.1772361. Epub 2020 Sep 3.	Original Article
55	Matsumoto K., Sato S., Okumura M., 他	腫瘍外科	Correction to: Left upper lobectomy is a risk factor for cerebral infarction after pulmonary resection: a multicentre, retrospective, case-control study in Japan (Surgery Today, (2020), 50, 11, (1383-1392), 10.1007/s00595-020-02032-4)	Surg Today. 2020 Nov;50(11):1393. doi: 10.1007/s00595-020-02132-1.	Original Article
56	Sumiyoshi R., Hidaka T., Koga T., 他	第一内科	Rheumatoid arthritis patients with low baseline Health Assessment Questionnaire scores have a risk of functional disability progression: a post hoc analysis of a nationwide longitudinal cohort in Japan	Clin Exp Rheumatol. 2020 Nov-Dec;38(6):1096-1101. Epub 2020 Sep 1.	Original Article
57	Sueyoshi E., Sakamoto L., Koide Y., 他	放射線科	Endovascular repair of an internal mammary artery aneurysm in a patient with Takayasu arteritis	Interact Cardiovasc Thorac Surg. 2020 Nov 1;31(6):740-742. doi: 10.1093/icvts/ivaa174.	Original Article
58	Kobayashi M., Ogawa S., Tayama J., 他	第一内科	Intra-abdominal fat accumulation is an important predictor of metabolic syndrome in young adults	Medicine (Baltimore). 2020 Sep 11;99(37):e22202. doi: 10.1097/MD.00000000000022202.	Original Article
59	Shima T., Nagasaka A., Yoshimura S., 他	第一内科	An adult case of parainfectious optic neuritis associated with genital herpes simplex virus type 2 infection	Clin Neuro Neurol. 2020 Nov;198:106200. doi: 10.1016/j.clineuro.2020.106200. Epub 2020 Sep 9.	Original Article
60	Kawashiri S.-Y., Tsujii Y., Tamai M., 他	第一内科	Effects of cigarette smoking and human T-cell leukemia virus type 1 infection on anti-citrullinated peptide antibody production in Japanese community-dwelling adults: the Nagasaki Islands Study	Scand J Rheumatol. 2021 Jul;50(4):295-298. doi: 10.1080/03009742.2020.1810310. Epub 2020 Sep 22.	Original Article
61	Imazumi Y., Iwanaga M., Nosaka K., 他	血液内科	Prognosis of patients with adult T-cell leukemia/lymphoma in Japan: A nationwide hospital-based study	Cancer Sci. 2020 Dec;111(12):4567-4580. doi: 10.1111/cas.14658. Epub 2020 Oct 21.	Original Article
62	Nagai K., Adachi T., Harada H., 他	細胞療法部	Dendritic cell-based immunotherapy pulsed with Wilms tumor 1 peptide and mucin 1 as an adjuvant therapy for pancreatic ductal adenocarcinoma after curative resection: A Phase I/IIa clinical trial	Anticancer Res. 2020 Oct;40(10):5765-5776. doi: 10.21873/anticancer.14593.	Original Article
63	Nagai K., Harada Y., Harada H., 他	細胞療法部	Highly activated ex vivo-expanded natural killer killer cells in patients with solid tumors in a phase I/IIa clinical study	Anticancer Res. 2020 Oct;40(10):5687-5700. doi: 10.21873/anticancer.14588.	Original Article
64	Koga T., Sato S., Nishihama H., 他	第一内科	Next-generation sequencing of the whole MEFV gene in Japanese patients with familial Mediterranean fever: a case-control association study	Clin Exp Rheumatol. 2020 Sep-Oct;38 Suppl 127(5):35-41. Epub 2020 Sep 23.	Original Article
65	Minami T., Kawano H., Sueyoshi E., 他	循環器内科	Radiation-induced myocardial injury in a breast cancer patient	Intern Med. 2021 Mar 1;60(5):811-812. doi: 10.2169/internmedicine.5772-20. Epub 2020 Oct 7.	Original Article
66	Oyama S., Nonaka T., Matsumoto K., 他	腫瘍外科	A new method using a vessel-sealing system provides coagulation effects to various types of bleeding with less thermal damage	Surg Endosc. 2021 Mar;35(3):1453-1464. doi: 10.1007/s00464-020-08043-z. Epub 2020 Oct 15.	Original Article
67	Kawashiri S.-Y., Nishino A., Shimizu T., 他	第一内科	Fluorescence optical imaging in patients with active rheumatoid arthritis: a comparison with ultrasound and an association with biomarkers	Scand J Rheumatol. 2021 Mar;50(2):95-103. doi: 10.1080/03009742.2020.1791028. Epub 2020 Oct 21.	Original Article
68	Endo Y., Koga T., Kawakami A.	第一内科	Comment on: Successful hydroxychloroquine treatment for familial Mediterranean fever in a Japanese patient with concurrent systemic lupus erythematosus: reply	Rheumatology (Oxford). 2020 Dec 1;59(12):e158-e157. doi: 10.1093/rheumatology/keaa563.	Letter
69	Matsumoto K., Taniguchi D., Tsuehira T., 他	腫瘍外科	Preoperative tracheal resection and reconstruction simulations with patient-specific three-dimensional models	Gen Thorac Cardiovasc Surg. 2021 Mar;69(3):593-596. doi: 10.1007/s11748-020-01531-y. Epub 2020 Oct 29.	Original Article
70	Koike Y., Yozaki M., Utani A., 他	皮膚科・アレルギー科	Fibroblast growth factor 2 accelerates the epithelial/mesenchymal transition in keratinocytes during wound healing process	Sci Rep. 2020 Oct 29;10(1):18545. doi: 10.1038/s41598-020-73584-7.	Original Article
71	Fukuda M., Yamaguchi H., Takemoto S., 他	第二内科	Trends in outpatient chemotherapy for thoracic oncology	Gan To Kagaku Ryoho. 2020 Oct;47(10):1461-1464.	Original Article
72	Endo Y., Fukui S., Umeda K., 他	第一内科	Effectiveness and safety of non-tumor necrosis factor inhibitor therapy for anti-human T-cell leukemia virus type 1 antibody-positive rheumatoid arthritis	Mod Rheumatol. 2020 Nov 27:1-12. doi: 10.1080/14397595.2020.1847802. Online ahead of print.	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
73	Chiba K., Okazaki N., Ito Y., 他	整形外科	Precision of 3D Registration Analysis for Longitudinal Study of Second-Generation HR-pQCT	J Clin Densitom. 2021 Apr-Jun;24(2):319-329. doi: 10.1016/j.jocd.2020.10.001. Epub 2020 Oct 19.	Original Article
74	Miyata Y., Mukae Y., Harada J., 他	泌尿器科・腎移植外科	Pathological and Pharmacological Roles of Mitochondrial Reactive Oxygen Species in Malignant Neoplasms: Therapies Involving Chemical Compounds, Natural Products, and Photosensitizers	Molecules. 2020 Nov 11;25(22):5252. doi: 10.3390/molecules25225252.	Review
75	Sasaki R., Miyasaki H., Narita S., 他	消化器内科	Serum Mac-2 binding protein glycosylation isomer as a biomarker of fibrosis in living donor liver transplant graft	Clin Transplant. 2021 Feb;35(2):e14175. doi: 10.1111/ctr.14175. Epub 2020 Dec 12.	Original Article
76	Kobayashi K., Kidera K., Ito M., 他	整形外科	Higher incidence of aseptic loosening caused by a lower canal filling ratio with a modified modular stem in total hip arthroplasty	J Orthop Surg Res. 2020 Nov 30;15(1):568. doi: 10.1186/s13018-020-02101-x.	Original Article
77	Uemura E., Tajima G., Murahashi S., 他	救急科	The expression of repulsive guidance molecule a after traumatic brain injury: Time-course changes in gene expression in a murine model of controlled cortical impact	J Trauma Acute Care Surg. 2021 Feb 1;90(2):281-286. doi: 10.1097/TA.0000000000003041.	Original Article
78	Tsuchiya T., Kamohara R., Muraoka M., 他	腫瘍外科	A single-arm, phase 2 study of adjuvant chemotherapy with oral tegafur-uracil for pathologically lymphovascular invasion positive stage IA non-small cell lung cancer: LOGIK0602 study	BMC Cancer. 2020 Dec 4;20(1):1192. doi: 10.1186/s12885-020-07691-7.	Original Article
79	Shima T., Tsujino A.	第一内科	MOG antibody-related disease with recurrent optic neuritis and sensory polyradiculoneuropathy: A case report	Mult Scler Relat Disord. 2020 Nov;45:102597. doi: 10.1016/j.msard.2020.102597. Epub 2020 Oct 21.	Letter
80	Sumiyoshi R., Koga T., Shimizu T., 他	第一内科	Single-arm, open-label pilot intervention study to investigate an effect of oral 5-aminolevulinic acid plus sodium ferrous citrate on glucocorticoid reduction in patients with adult-onset Still disease: Study protocol for clinical trial (SPIRIT compliant)	Medicine (Baltimore). 2020 Dec 11;99(50):e22708. doi: 10.1097/MD.00000000000022708.	Original Article
81	Koga T., Takemori S., Hagimori N., 他	第一内科	An open-label continuation trial of sirolimus for tocilizumab-refractory idiopathic multicentric Castleman disease: Study protocol for an investigator-initiated, multicenter, open-label trial (SPIRIT compliant)	Medicine (Baltimore). 2020 Dec 11;99(50):e23291. doi: 10.1097/MD.00000000000023291.	Original Article
82	Endo Y., Koga T., Hara K., 他	第一内科	The possession of exon 2 or exon 3 variants in the MEFV gene promotes inflammasome activation in Japanese patients with familial Mediterranean fever with a heterozygous exon 10 mutation	Clin Exp Rheumatol. 2020 Sep-Oct;38 Suppl 127(5):49-52. Epub 2020 Dec 10.	Original Article
83	Kawano H., Hayashi T., Maemura K.	循環器内科	Metastatic carcinoid tumor to heart	Circ J. 2021 Jan 25;85(2):223. doi: 10.1253/circj.CJ-20-1072. Epub 2020 Dec 19.	Original Article
84	Kawano H., Kudo T., Umeda M., 他	循環器内科	Myocardial damage and microvasculopathy in a patient with systemic sclerosis	Circ J. 2021 Jan 25;85(2):224. doi: 10.1253/circj.CJ-20-1133. Epub 2020 Dec 19.	Original Article
85	Torigoe K., Muta K., Tsuji K., 他	第二内科	Urinary liver-type fatty acid-binding protein predicts residual renal function decline in patients on peritoneal dialysis	Med Sci Monit. 2020 Dec 21;26:e028236. doi: 10.12659/MSM.028236.	Original Article
86	Haraguchi M., Miama S., Yamamoto K., 他	消化器内科	Genyleranylacetone decreases the production of hepatitis B virus-related antigen by comprehensive downregulation of mRNA transcription activity	J Gastroenterol Hepatol. 2021 Jan 4. doi: 10.1111/jgh.15391. Online ahead of print.	Original Article
87	Endo Y., Kawashiri S.-Y., Morimoto S., 他	第一内科	Utility of a simplified ultrasonography scoring system among patients with rheumatoid arthritis: A multicenter cohort study	Medicine (Baltimore). 2021 Jan 8;100(1):e23251. doi: 10.1097/MD.00000000000023251.	Original Article
88	Hara T., Eguchi S., Yoshizumi T., 他	移植・消化器外科	Incidental intrahepatic cholangiocarcinoma in patients undergoing liver transplantation: A multi-center study in Japan	J Hepatobiliary Pancreat Sci. 2021 Apr;28(4):346-352. doi: 10.1002/jhpb.896. Epub 2021 Feb 9.	Original Article
89	Hlu T., Morimoto S., Matsuo A., 他	脳神経外科	Current status of a helicopter transportation system on remote islands for patients undergoing mechanical thrombectomy	PLoS One. 2021 Jan 19;16(1):e0245082. doi: 10.1371/journal.pone.0245082. eCollection 2021.	Original Article
90	Hosogaya N., Takazono T., Yokomasa A., 他	第二内科	Estimation of the value of convalescence in taking influenza antivirals in Japanese adult patients between baloxavir marboxil and neuraminidase inhibitors using a conjoint analysis	J Med Econ. 2021 Jan-Dec;24(1):241-254. doi: 10.1080/13696998.2021.1877150.	Original Article
91	Mitsunari K., Miyata Y., Matsuo T., 他	泌尿器科・腎移植外科	Pharmacological effects and potential clinical usefulness of polyphenols in benign prostatic hyperplasia	Molecules. 2021 Jan 16;26(2):450. doi: 10.3390/molecules26020450.	Original Article
92	Akazawa S., Atackin L., Jhala G., 他	第一内科	Deficiency of the Innate immune adaptor STING promotes autoreactive T cell expansion in NOD mice	Diabetologia. 2021 Apr;64(4):878-889. doi: 10.1007/s00125-020-05378-z. Epub 2021 Jan 23.	Original Article
93	Eguchi S., Hidaka M., Kugiyama T., 他	移植・消化器外科	Changes in the Role and Mode of Liver Resection for Hepatocellular Carcinoma Over 20 Years: A Single-Center Analysis	World J Surg. 2021 Apr;45(4):1152-1158. doi: 10.1007/s00268-020-05914-3. Epub 2021 Jan 25.	Original Article
94	Koga T., Kawakami A., Tsokos G.C.	第一内科	Current insights and future prospects for the pathogenesis and treatment for rheumatoid arthritis	Clin Immunol. 2021 Apr;225:108680. doi: 10.1016/j.clim.2021.108680. Epub 2021 Jan 23.	Original Article
95	Kaku N., Kodama H., Akamatsu N., 他	検査部	Multicenter evaluation of molecular point-of-care testing and digital immunoassays for influenza virus A/B and respiratory syncytial virus in patients with influenza-like illness	J Infect Chemother. 2021 Jun;27(6):820-825. doi: 10.1016/j.jiac.2021.01.010. Epub 2021 Jan 25.	Original Article
96	Muta K., Nakazawa Y., Obata Y., 他	第二内科	An inhibitor of Kruppel-like factor 5 suppresses peritoneal fibrosis in mice	Perit Dial Int. 2021 Jul;41(4):394-403. doi: 10.1177/0896860820981322. Epub 2021 Feb 1.	Original Article
97	Matsuo T., Miyata Y., Sakai H.	泌尿器科・腎移植外科	Editorial Comment to Does cognitive behavioral therapy using a self-check sheet improve night-time frequency in patients with nocturia? Results of a multicenter randomized controlled trial	Int J Urol. 2021 Apr;28(4):449. doi: 10.1111/iju.14516. Epub 2021 Jan 31.	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
98	Kosai K., Suzuki H., Tamai K., 他	検査部	Multicenter evaluation of Verigene Enteric Pathogens Nucleic Acid Test for detection of gastrointestinal pathogens	Sci Rep. 2021 Feb 4;11(1):3033. doi: 10.1038/s41598-021-82490-z.	Original Article
99	Muta K., Kitamura M., Hidaka M., 他	第二内科	Association between trough level of tacrolimus and change in estimated glomerular filtration rate 1 year after living donor liver transplantation	Ann Transplant. 2021 Feb 9;26:e928858. doi: 10.12659/AOT.928858.	Original Article
100	Adachi T., Eguchi S., Muto Y.	移植・消化器外科	Pathophysiology and pathology of acute cholecystitis: A secondary publication of the Japanese version from 1992	J Hepatobiliary Pancreat Sci. 2021 Feb 11. doi: 10.1002/jhpb.912. Online ahead of print.	Review
101	Eishi K., Matsumaru I., Miura T., 他	心臓血管外科	Tricuspidization by the raphe suspension technique in a unicuspid or bicuspid aortic valve	Multimed Man Cardiothorac Surg. 2021 Jan 18;2021. doi: 10.1510/mmcts.2021.001.	Original Article
102	Haraguchi M., Ichinose K., Miyaaki H., 他	消化器内科	Comparative study of the effect of neuromuscular electrical stimulation and oral administration of branched-chain amino acid on preventing sarcopenia in patients after living-donor liver transplantation: study protocol for an open-label randomized controlled trial	Trials. 2021 Feb 12;22(1):137. doi: 10.1186/s13063-021-05086-y.	Original Article
103	Nakashima Y., Ohnishi A., Harada S., 他	小児科	A 3-year-old child with congenital toxoplasmosis detected in a medical checkup	Pediatr Int. 2021 Mar;63(3):354-356. doi: 10.1111/ped.14428. Epub 2021 Feb 18.	Original Article
104	Koga T., Ichinose K., Kawakami A., 他	第一内科	Current Insights and Future Prospects for Targeting IL-17 to Treat Patients With Systemic Lupus Erythematosus	Front Immunol. 2021 Feb 1;11:624971. doi: 10.3389/fimmu.2020.624971. eCollection 2020.	Review
105	Morimoto Y., Ono S., Yoshida S., 他	精神科神経科	A unique missense variant in the E1A-binding protein P100 gene is implicated in schizophrenia by whole-exome sequencing and mutant mouse models	Transl Psychiatry. 2021 Feb 18;11(1):132. doi: 10.1038/s41398-021-01258-1.	Original Article
106	Matsuo T., Miyata Y., Otsubo A., 他	泌尿器科・腎移植外科	Efficacy of salt reduction for managing overactive bladder symptoms: a prospective study in patients with excessive daily salt intake	Sci Rep. 2021 Feb 18;11(1):4946. doi: 10.1038/s41598-021-83725-9.	Original Article
107	Otsubo R., Yano H., Matsumoto M., 他	腫瘍外科	Comparison of central venous port procedures between puncture vs. cut-down and residents vs. senior surgeons	In Vivo. 2021 Mar-Apr;35(2):1197-1204. doi: 10.21873/in vivo.12369.	Original Article
108	Iwanaga A., Kusatsuka Y., Murote H.	皮膚科・アレルギー科	Molecular diagnosis of an atypical case of angiomatoid fibrous histiocytoma based on detection of the EWSR1 gene translocation	J Dermatol. 2021 May;48(5):e215-e216. doi: 10.1111/1346-8138.15823. Epub 2021 Feb 23.	Letter
109	Mukae H., Kaneko T., Ohase Y., 他	第二内科	The Japanese respiratory society guidelines for the management of cough and sputum (digest edition)	Respir Investig. 2021 May;59(3):270-280. doi: 10.1016/j.resinv.2021.01.007. Epub 2021 Feb 26.	Original Article
110	Tsuchiya T., Akatsuno K., Miyazaki T., 他	腫瘍外科	A randomized phase II study of S-1 monotherapy versus cisplatin with vinorelbine for completely resected stage II/IIIa non-small cell lung cancer: rationale and study protocol design for the LOGIK1702 study	BMC Cancer. 2021 Mar 8;21(1):249. doi: 10.1186/s12885-021-07945-y.	Original Article
111	Endo Y., Fukui S., Koga T., 他	第一内科	Tozilumab has no direct effect on cell lines infected with human T-cell leukemia virus type 1	J Int Med Res. 2021 Mar;49(3):3000605211002083. doi: 10.1177/03000605211002083.	Original Article
112	Mitsunari K.	泌尿器科・腎移植外科	Editorial Comment from Dr Mitsunari to Intraprostatic prophylactic antibiotic injection in patients undergoing transrectal ultrasonography-guided prostate biopsy	Int J Urol. 2021 Jun;28(6):687. doi: 10.1111/iju.14555. Epub 2021 Mar 21.	Original Article
113	Kudo T., Nessimian A.E.	放射線部	Modalities for predicting events in patients with ICDs: Expanding the versatility of FDG PET.	J Nucl Cardiol. 2021 Apr;28(2):478-480. doi: 10.1007/s12350-021-02569-y. Epub 2021 Mar 9.	Original Article
114	Kaku N., Ota K., Sasaki D., 他	検査部	Had COVID-19 spread in the community before the first confirmed case in Nagasaki, Japan?	Microbes Infect. 2021 Mar 27;23(4-5):104812. doi: 10.1016/j.micinf.2021.104812. Online ahead of print.	Original Article
115	Ashizawa N., Takazono T., Ohyama K., 他	第二内科	Evaluation of four commercial severe acute respiratory coronavirus 2 antibody tests	J Infect Chemother. 2021 Jul;27(7):1033-1038. doi: 10.1016/j.jac.2021.03.008. Epub 2021 Mar 15.	Original Article
~					小計18件 計115件

- (注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。
- 2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。)
- 3 「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet al.とする。
- 4 「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。
- 5 「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名・出版年月(原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない);巻数:該当ページ」の形式で記載すること(出版がオンラインのみの場合は雑誌名・出版年月(オンライン掲載月)の後に(オンライン)と明記すること)。
記載例: Lancet. 2015 Dec; 386: 2357-9 / Lancet. 2015 Dec (オンライン)
- 6 「論文種別」欄には、Original Article, Case report, Review, Letter, Othersから一つ選択すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1					Original Article
2					Case report
3					
~					

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを入力すること。
- 2 記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文の記載方法」に準じること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	有・無
・ 手順書の主な内容 ヘルシンキ宣言その他研究等の領域に則した倫理に関する指針等の趣旨に沿った倫理的配慮を 踏ることを目的とし、新規申請に係る手続き・臨床研究実施中及び終了時の手続き等について記 載している。	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年12回

- (注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。
2 前年度の実績を記載すること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	有・無
・ 規定の主な内容 長崎大学及び長崎大学病院には以下の指針や規程が存在する。 「長崎大学利益相反マネジメントポリシー」 「長崎大学における臨床研究に係る利益相反ポリシー」 「長崎大学における臨床研究に係る利益相反管理指針」 「長崎大学病院利益相反審査委員会規程」 臨床研究利益相反審査委員会は「利益相反審査自己申告書」により利益相反の管理を行う。申告書により利益相反があきらかな場合、利益相反審査委員会は、申告書に添付された臨床研究実	

施計画書に照らし合わせて適正な臨床研究が実施可能かどうかについて審議し、当事者への助言・指導・勧告等を行う。なお、審議に際し、関係する各倫理委員会又は治験審査委員会の意見を聴取することができる。また、必要に応じて更なる情報収集・調査及びフォローアップを行う。

（「長崎大学における臨床研究に係る利益相反管理指針」より）

③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年12回
---------------------------------------	------

(注) 前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年26回
<p>・研修の主な内容</p> <p>○臨床研究に関する研修会（26回（内訳：オンライン研修会24回、e-ラーニング2回））</p> <p>内容：適切な研究実施を行うために知っておくべきこと、モニタリングについて、臨床研究データの品質管理、統計解析について、必須文書の保管の仕方、特定臨床研究の実施について、倫理審査の必要性、臨床研究の倫理について、プロジェクトマネジメントについて、臨床研究支援に必要なスキルを身に着ける 等</p>	

(注) 前年度の実績を記載すること。

(様式第4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

長崎大学病院では、日本専門医機構に準ずる基本19領域のうちリハビリテーション科を除く18領域のプログラムがあり、県内外の関連病院、海外の拠点病院と連携して、高度専門医療を研修できるシステムを構築している。

大学病院連携型高度医療人養成推進事業により発足した医師育成キャリア支援室では、これまで個人で専門医の資格を取るために行っていたことを、大学病院が全面的にサポートし、できるだけ短期間で効率よく専門医資格修得できるよう、専門のコーディネーターによる支援を行っている。

歯科においては、1年の初期臨床研修に引き続き専門歯科医師の養成、地域歯科医療のリーダー育成および高齢者や有病者における全身管理を実践できる歯科医師の養成を目的として、20コース（選択制）の後期臨床研修を行っている。

(注) 上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数	74人
-------------	-----

(注) 前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
川上 純	リウマチ科	教授	36年	
川上 純	内分泌・代謝内科	教授	36年	
辻野 彰	脳神経内科	教授	32年	
迎 寛	呼吸器内科	教授	36年	
西野 友哉	腎臓内科	教授	24年	
中尾 一彦	消化器内科	教授	38年	
前村 浩二	循環器内科	教授	35年	
宮崎 泰司	血液内科	教授	35年	
有吉 紅也	感染症内科	教授	35年	
森内 浩幸	小児科	教授	37年	
室田 浩之	皮膚科	教授	25年	
小澤 寛樹	精神科	教授	36年	

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
永安 武	呼吸器外科	教授	34年	
江口 晋	肝胆膵外科・肝移植外科	教授	29年	
江石 清行	心臓血管外科	教授	39年	
尾崎 誠	整形外科	教授	30年	
三浦 清徳	産婦人科	教授	26年	
北岡 隆	眼科	教授	38年	
熊井 良彦	耳鼻いんこう科	教授	22年	
酒井 英樹	泌尿器科・腎移植外科	教授	38年	
松尾 孝之	脳神経外科	教授	32年	
上谷 雅孝	放射線科	教授	40年	
原 哲也	麻酔科	教授	29年	
岡野 慎士	病理診断科	教授	28年	
柳原 克紀	検査部	教授	30年	
田崎 修	救急科	教授	31年	
田中 克己	形成外科	教授	37年	
前田 隆浩	総合診療科	教授	36年	
藤原 卓	小児歯科	教授	38年	
吉田 教明	矯正歯科	教授	35年	
朝比奈 泉	歯科口腔外科	教授	38年	
鮎瀬 卓郎	麻酔・生体管理科	教授	37年	

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）
・研修の主な内容：医療機器の操作・管理研修（手術支援ロボットda Vinci Xi）
・研修の期間・実施回数：令和2年4月7日、9日、10日、22日・4回
・研修の参加人数：40名
・研修の主な内容：医療機器の操作・管理研修（人工呼吸器Servo-U、Evita Infinity V500）
・研修の期間・実施回数：令和2年6月23日、7月22日、7月29日・3回
・研修の参加人数：13名
・研修の主な内容：医療機器の操作・管理研修（アイノフロー）
・研修の期間・実施回数：令和2年8月17日、8月26日、9月2日・3回
・研修の参加人数：32名
・研修の主な内容：医療機器の操作・管理研修（血液浄化装置AcuFil Multi 55X-II）
・研修の期間・実施回数：令和2年9月3日・1回
・研修の参加人数：24名
・研修の主な内容：医療機器の操作・管理研修（人工呼吸器PB840）
・研修の期間・実施回数：令和2年9月8日・1回
・研修の参加人数：17名
・研修の主な内容：医療機器の操作・管理研修（補助循環装置 SP-200NEO、UNIMO）
・研修の期間・実施回数：令和2年9月9日・1回
・研修の参加人数：12名
・研修の主な内容：医療機器の操作・管理研修（人工呼吸器VN500、V500）
・研修の期間・実施回数：令和2年10月28日、12月9日・2回
・研修の参加人数：29名

<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：医療機器の操作・管理研修（体温管理装置Arctic Sun5000） ・研修の期間・実施回数：令和2年11月9日、11月20日・2回 ・研修の参加人数：25名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：医療機器の操作・管理研修（人工呼吸器Servo-U） ・研修の期間・実施回数：令和2年12月7日・1回 ・研修の参加人数：10名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：医療機器の操作・管理研修（人工心肺装置） ・研修の期間・実施回数：令和3年1月22日・1回 ・研修の参加人数：28名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：医療機器の操作・管理研修（人工呼吸器Servo-U） ・研修の期間・実施回数：令和3年1月22日・1回 ・研修の参加人数：14名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：院内感染対策・抗菌薬適正使用合同講習会 ・研修の期間・実施回数：年1回：eラーニング ・研修の参加人数：全職員対象 2,361名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：長崎大学病院緩和ケア研修会 ・研修の期間・実施回数：年1回 2020年10月4日 ・研修の参加人数：12名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：各病棟看護師スタッフ等への研修講義 ・研修の期間・実施回数：2020年5月，2020年7月 ・研修の参加人数：2020年5月 8名，2020年7月 10名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：看護師特定行為研修・臨床薬理学講義 ・研修の期間・実施回数：2020年7月1日～3日 ・研修の参加人数：7名

<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：糖尿病ケアサポートチーム・多職種レクチャー ・研修の期間・実施回数：2021年2月12日 ・研修の参加人数：27名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容 新採用者オリエンテーション ・研修の期間・実施回数 4月1日～4月10日 1回 ・研修の参加人数 72名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容 指導者研修 ・研修の期間・実施回数 6月8日～26日/7月27日～8月21日/8月12日・13日・18日/10月26日 (4回シリーズ) ・研修の参加人数 のべ185名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容 リーダーシップ研修 ・研修の期間・実施回数 8月27日/10月23日/1月28日 3回シリーズ ・研修の参加人数 のべ36名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容 セルフマネジメント研修 ・研修の期間・実施回数 10月15日 年1回 ・研修の参加人数 12名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容 褥瘡対策研修 ・研修の期間・実施回数 10月6日 年1回 ・研修の参加人数 12名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容 看護研究研修 ・研修の期間・実施回数 5月15日/8月3日～8月23日/9月4日/11月26日/12月15日/ 2月1日～19日 6回シリーズ ・研修の参加人数 のべ116名

<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容 看取りケア研修 ・研修の期間・実施回数 12月11日 年1回 ・研修の参加人数 31名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容 臨地実習指導者研修 ・研修の期間・実施回数 1月19日～2月19日 1回 ・研修の参加人数 15名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容 復帰支援スクール ・研修の期間・実施回数 12月8日～9日/3月9日～10日 2回 ・研修の参加人数 のべ49名
<p>② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：特定機能病院における定期研修（人工呼吸器 前期） ・研修の期間・実施回数：令和2年5月7日（eラーニング）・1回 ・研修の参加人数：149名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：特定機能病院における定期研修（閉鎖式保育器 前期） ・研修の期間・実施回数：令和2年6月1日（eラーニング）・1回 ・研修の参加人数：136名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：特定機能病院における定期研修（血液浄化装置 前期） ・研修の期間・実施回数：令和2年7月3日（eラーニング）・1回 ・研修の参加人数：133名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：特定機能病院における定期研修（除細動器 前期） ・研修の期間・実施回数：令和2年8月13日（eラーニング）・1回 ・研修の参加人数：132名

<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：特定機能病院における定期研修（診療用高エネルギー発生装置 前期） ・研修の期間・実施回数：令和2年8月13日・1回 ・研修の参加人数：9名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：特定機能病院における定期研修（診断用放射線照射装置 前期） ・研修の期間・実施回数：令和2年8月13日・1回 ・研修の参加人数：9名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：特定機能病院における定期研修（人工心肺装置及び補助循環装置 前期） ・研修の期間・実施回数：令和2年9月1日（eラーニング）・1回 ・研修の参加人数：104名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：特定機能病院における定期研修（人工呼吸器 後期） ・研修の期間・実施回数：令和2年10月6日（eラーニング）・1回 ・研修の参加人数：123名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：特定機能病院における定期研修（閉鎖式保育器 後期） ・研修の期間・実施回数：令和2年12月1日（eラーニング）・1回 ・研修の参加人数：127名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：特定機能病院における定期研修（血液浄化装置 後期） ・研修の期間・実施回数：令和3年1月4日（eラーニング）・1回 ・研修の参加人数：84名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：特定機能病院における定期研修（除細動器 後期） ・研修の期間・実施回数：令和3年1月13日（eラーニング）・1回 ・研修の参加人数：87名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：特定機能病院における定期研修（診療用高エネルギー発生装置 後期） ・研修の期間・実施回数：令和3年2月18日・1回 ・研修の参加人数：10名

<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：特定機能病院における定期研修（診断用放射線照射装置 後期） ・研修の期間・実施回数：令和3年2月18日・1回 ・研修の参加人数：10名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：特定機能病院における定期研修（人工心肺装置及び補助循環装置 後期） ・研修の期間・実施回数：令和3年3月8日（eラーニング）・1回 ・研修の参加人数：83名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：医療機器の操作・管理研修（輸液ポンプ・シリンジポンプ 前期） ・研修の期間・実施回数：令和2年4月7日、8日・2回 ・研修の参加人数：123名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：医療機器の操作・管理研修（輸液ポンプ・シリンジポンプ 後期） ・研修の期間・実施回数：令和2年10月6日（eラーニング）・1回 ・研修の参加人数：123名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：新しい医療機器の導入時の研修（電動式骨手術器械） ・研修の期間・実施回数：令和2年4月1日・1回 ・研修の参加人数：7名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：新しい医療機器の導入時の研修（手術台） ・研修の期間・実施回数：令和2年4月10日・1回 ・研修の参加人数：43名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：新しい医療機器の導入時の研修（気管支鏡） ・研修の期間・実施回数：令和2年5月28日・1回 ・研修の参加人数：14名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：新しい医療機器の導入時の研修（超音波診断装置） ・研修の期間・実施回数：令和2年6月22日・1回 ・研修の参加人数：4名

<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：新しい医療機器の導入時の研修（医療機器チェッカ） ・研修の期間・実施回数：令和2年7月20日・1回 ・研修の参加人数：24名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：新しい医療機器の導入時の研修（血液浄化装置） ・研修の期間・実施回数：令和2年8月28日・1回 ・研修の参加人数：18名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：新しい医療機器の導入時の研修（汎用X線診断装置用電動式患者台） ・研修の期間・実施回数：令和2年9月14日、17日・2回 ・研修の参加人数：27名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：新しい医療機器の導入時の研修（超音波診断装置） ・研修の期間・実施回数：令和2年9月30日、10月16日・2回 ・研修の参加人数：18名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：新しい医療機器の導入時の研修（分娩監視コードレスシステム） ・研修の期間・実施回数：令和2年10月16日・1回 ・研修の参加人数：9名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：新しい医療機器の導入時の研修（胆管膵管システム） ・研修の期間・実施回数：令和2年10月29日、30日・2回 ・研修の参加人数：26名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：新しい医療機器の導入時の研修（心臓カテーテル用検査装置） ・研修の期間・実施回数：令和2年12月4日、7日・2回 ・研修の参加人数：6名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：新しい医療機器の導入時の研修（低温蒸気ホルムアルデヒド滅菌装置） ・研修の期間・実施回数：令和3年1月4日・1回 ・研修の参加人数：6名

<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：新しい医療機器の導入時の研修（ワイヤレス超音波画像診断装置） ・研修の期間・実施回数：令和3年2月15日・1回 ・研修の参加人数：6名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：新しい医療機器の導入時の研修（個人用水処理装置） ・研修の期間・実施回数：令和3年3月23日・1回 ・研修の参加人数：19名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：新採用薬剤師研修プログラム ・研修の期間・実施回数：6ヶ月（調剤業務48回，注射薬室業務30回，抗癌剤調製6-8回，麻薬業務2回） ・研修の参加人数：1名（勤務1年目の薬剤師）
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：薬剤管理指導業務研修 ・研修の期間・実施回数：6ヶ月、週2時間 ・研修の参加人数：1名（勤務1年目の薬剤師）
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：休日TDM測定業務研修 ・研修の期間・実施回数：2ヶ月間、計3回 ・研修の参加人数：10名（勤務2年目の薬剤師）
<p>③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況</p>

(注) 1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

(様式第5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画	2. 現状
管理責任者氏名	病院長 中尾 一彦	
管理担当者氏名	放射線部長 上谷 雅孝 感染制御教育センター長 泉川 公一 総務課長 近藤 政美 医事課長 島田 邦博	薬剤部副部長 兒玉 幸修 ME機器センター長 栗原 慎太郎 人事企画課長 吉岡 裕敏 医療安全課長 梅嶋 敬三

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録	規則第二十二條の三第二項に掲げる事項	病院日誌	総務課
		各科診療日誌	各診療科
		処方せん	薬剤部
		手術記録	※
		看護記録	※
		検査所見記録	※
		エックス線写真	放射線部
		紹介状	※
		退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	※
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十二條の三第三項に掲げる事項	従業者数を明らかにする帳簿	人事企画課
		高度の医療の提供の実績	医事課
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	医事課
		高度の医療の研修の実績	総務課
		閲覧実績	総務課、医事課
		紹介患者に対する医療提供の実績	医事課
		入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課、薬剤部
	規則第一條	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全課
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全課
			施設可能な部屋にあるキャビネット内に書面にて保管。 診療録の院外への持ち出しについては、「長崎大学病院における診療録等の貸出等の運用手続き」及び、「長崎大学病院における個人を特定できる情報を含む医療情報等の外部持ち出しに関する申合せ」により原則として禁止している。 ※手術記録、看護記録、検査所見記録、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書については、電子カルテ及び紙媒体にて、診療情報管理室で管理・保管している。
			施設可能な部屋にあるキャビネット内に書面にて保管。
			施設可能な部屋にあるキャビネット内に書面にて保管。

	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全課	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全課	

		保管場所	管理方法	
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	施錠可能な部屋にあるキャビネット内に書面にて保管。	
		院内感染対策のための委員会の開催状況		医療安全課 感染制御教育センター
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況		医療安全課 感染制御教育センター
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況		医療安全課 感染制御教育センター
		医薬品安全管理責任者の配置状況	薬剤部	
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部	
		医療機器安全管理責任者の配置状況	ME機器センター	
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	ME機器センター	
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	ME機器センター	
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	ME機器センター	

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十の二第二項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	医療安全課
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	医療安全課
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	薬剤部
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	医療安全課
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	医事課
		医療安全管理部門の設置状況	医療安全課
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	医事課
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	薬剤部
		監査委員会の設置状況	総務課
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医療安全課
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医療安全課
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療安全課
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	医療安全課
		職員研修の実施状況	医療安全課
		管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	総務課 薬剤部 ME機器センター
		管理者が有する権限に関する状況	総務課、人事企画課
		管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況	総務課
開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況	総務課		

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第 6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画	2. 現状
閲覧責任者氏名	事務部長 本田 秀史	
閲覧担当者氏名	総務課長 近藤 政美	
閲覧の求めに応じる場所	総務課	
閲覧の手続の概要 長崎大学広報戦略本部において、「独立行政法人等の保有する情報の公開に関する法律」に基づき、法人文書開示請求手続きを行っている。		

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延	4	件
閲覧者別	医師	延	0	件
	歯科医師	延	0	件
	国	延	0	件
	地方公共団体	延	0	件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

規則第1条の11第1項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ○医療安全管理に関する基本的考え方 ○医療安全管理委員会及びその他の組織に関する基本的事項 ○医療安全管理のための職員研修に関する基本方針 ○事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針 ○医療事故発生時の対応に関する基本方針 ○医療従事者と患者との間の情報の共有に関する基本方針 ○患者等からの相談への対応に関する基本方針 ○その他医療安全の推進のために必要な基本方針 	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 設置の有無（有・無） <ul style="list-style-type: none"> ○医療安全管理委員会（月1回開催） ・ 開催状況：年12回 <ul style="list-style-type: none"> ○リスクマネージャー会議（月1回開催） ・ 開催状況：年12回（書面会議11回） ・ 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ○医療安全に関する対策の推進 ○医事紛争及び医療事故等、問題が発生した場合の調査及び分析。 ○医療安全のための教育及び研修。 ○医療安全のためのマニュアル作成等。 ○医療安全に関する情報収集。 ○医薬品医療機器等安全管理専門委員会及び医療機器安全管理専門委員会における審議内容に関すること。 	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年3回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の内容（すべて）： <ol style="list-style-type: none"> 1. 令和2年度第1回医療安全研修会 <ol style="list-style-type: none"> ①「医療機器の保守点検」 <ul style="list-style-type: none"> ME機器センター 林 誠副センター長 	

②「救急カート管理薬剤の適正使用：アミオダロン投与時の注意点」

薬剤部 安藝 敬生先生

③「インシデントレポート記載時の注意点」

安全管理部（GRM/看護師長） 後田 実知子副部長

2. 令和2年度第2回医療安全研修会

①「医療安全と個人情報」安全管理部長 栗原慎太郎先生

3. 令和2年度第3回医療安全研修会

①「輸血医療の危機管理：実施手順と製剤の取り扱いを中心に」

細胞療法部副部長 長井一浩先生

②「医療用麻薬の取り扱いについて～インシデント事例を中心に～」

安全管理部（GRM/薬剤師） 橋詰 淳哉副部長

④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況

- ・ 医療機関内における事故報告等の整備（有・無）
- ・ その他の改善のための方策の主な内容：
 - 医療事故防止対策マニュアルの改訂
 - インシデントレポート報告システムの改良
 - 安全管理部部員等による院内巡視
 - 医療安全ポケットマニュアルの改訂
 - 安全管理部カンファレンス（週1回実施）

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第1号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有
<p>・ 指針の主な内容： 1) 院内感染対策委員会の設置、2) 職員研修の実施、3) 病院感染発生時の対応、4) 院内感染対策マニュアルの策定、5) 院内感染防止に関する患者への情報提供と説明、6) その他の病院における院内感染対策の推進</p> <p>以上について明記。</p>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 48 回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <p>(構成員) 委員長：病院長、感染制御教育センター長（院内感染管理者）、他委員数12名、計14名全員の出席をもって開催される。</p> <p>(開催回数内訳) ・ 定例開催（毎月1回（8月は休会））11回 ・ 臨時開催（9/9・1/5・1/15）3回 ・ covid-19災害対策運営委員会「院内感染対策委員会・病院運営会議合同会議」34回</p> <p>(検討内容) ・ 耐性菌の発生状況、手指衛生遵守状況、蓄尿率、公開JCTラウンド等の報告、承認を行う。 ・ COVID-19への対応、他。</p>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 2 回
<p>・ 研修の内容（すべて）：</p> <p>1. 令和2年度第1回院内感染対策・抗菌薬適正使用合同講習会</p> <p>① 「COVID-19重症肺炎患者における感染対策の実際」 総合診療科/感染症内科 講師 山梨啓友先生、感染症内科 医師 赤羽目翔悟先生</p> <p>② 「COVID-19感染症に対する治療薬について」 薬剤部 薬剤師 今村政信先生</p> <p>2. 令和2年度第2回院内感染対策・抗菌薬適正使用合同講習会</p> <p>① 「新型コロナウイルス感染症対応マニュアルと特設サイトの紹介」 感染制御教育センター 副センター長 田代将人先生</p> <p>② 「コロナ禍における薬剤耐性(AMR)・抗菌薬適正使用支援チーム(AST)活動の現状」 感染制御教育センター 病院准教授 田中健之先生</p>	

④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況

- ・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有)
- ・ その他の改善のための方策の主な内容：
院内で検出された耐性菌、無菌検体からの微生物検出状況は毎朝の会議にて微生物検査室から報告がある。インフルエンザやノロウイルス、結核など伝染性疾患に関する塗抹情報や抗原検出状況はリアルタイムに報告がある。以上のうち、院内感染対策上重要な微生物が検出された場合はその都度検出された部署へ赴き、実際の感染対策を指導している。それらは記録として保存している。また、週に1回は病棟、外来、中央診療棟などを多職種からなるICTチームでラウンドし、感染対策の現状の把握とon the job trainingを実践している。
また、広域抗菌薬・抗真菌薬使用患者を土曜、休日以外の連日、ピックアップし、薬剤師を中心に医師・看護師・検査技師を交えたASTチームでカンファレンスを行い、主治医にカルテ上でのコメントを通じて抗菌薬適正使用支援（ASP）活動を行っている。なお、本活動の一環として、連日、微生物検査室からの報告を用いて血液培養ラウンドを行い、感染症診療支援、抗菌薬適正使用支援を行っている。Googleフォームを用いた院内全職員の健康管理を毎日行っている。

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 2 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>令和2年度 第1回安全管理研修会（e-ラーニングのみ） 「救急カート管理薬剤の適正使用：アミオダロン投与時の注意点」（講師：安藝 敬生 薬剤師） 実施日：令和2年5月、イントラネット動画研修、受講人員：2213人（92%）</p> <p>令和2年度 第3回安全管理研修会（e-ラーニングのみ） 「医療用麻薬の取り扱いについて～インシデント事例を中心に～」（講師：橋詰 淳哉 薬剤師） 実施日：令和2年11月、イントラネット動画研修、受講人員：2216人（92%）</p>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<p>・ 手順書の作成 （有・無）</p> <p>・ 手順書の内訳に基づく業務の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 医薬品の採用・購入に関する事項 2. 医薬品の管理に関する事項（購入～薬剤部内の管理） 3. 患者に対する医薬品の投薬指示から調剤に関する事項（改訂有り） 4. 患者に対する服薬指導に関する事項 5. 医薬品の安全使用に係る情報の取扱い 6. 病棟、中央診療部門、外来における医薬品の管理（改訂有り） 7. 他施設（病院等、薬局等）との連携に関する事項 8. 輸血・血液管理担当部門と責任者の設置等（改訂有り） 9. 薬剤投与のための機器使用 10. 放射性医薬品の管理（改訂有り） 11. 臨床検査薬の管理 12. 造影剤の管理、使用（改訂有り） 13. 血液浄化療法部門 14. 外来化学療法部門 15. 院内製剤の取り扱いについて（改訂有り） 16. 未承認新規医薬品の使用及び医薬品医療機器等の適応外使用について 17. 当該手順書の順守状況の確認 	
<p>実施状況：年1回順守状況のチェックを各部署で行い、その内容を医薬品安全管理責任者がすべて確認している。問題があれば改善のための指導を行う。</p>	

④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況

- ・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有・無)
- ・ 未承認等の医薬品の具体的な使用事例 (あれば) : なし
- ・ その他の改善のための方策の主な内容 :

【収集方法】

未承認等の医薬品の使用情報について、未承認新規医薬品に関しては使用申出の担当部署である医薬品医療機器等安全管理専門委員会 (以下、薬機専) で把握している。その他の適応外使用等については、薬剤部において、薬剤交付時の鑑査や入院患者に対する病棟薬剤業務において把握したものを記録している他、診療科からの申請・報告により薬機専でも把握している。

医薬品の採用時には、添付文書他、IF、文献等を収集している。添付文書等の改訂については、各メーカーのMRから連絡、DSUなどの発信について確認を行い、最新の添付文書等を入手するようにしている。

【周知方法】

未承認新規医薬品に関しては担当部署である薬機専の委員長より医療安全管理委員会において定期的に報告している。その他の未承認等に関しても、把握した件数を医療安全管理委員会へ報告している。

採用薬に関して改訂された情報の全てを、薬剤部各部署へ文書で通知を行っている。また、病棟、診療科 (診療科長、医局長)、中央診療部 (部長、副部長等) に対しては、緊急安全性情報、安全性速報、DSU、医薬品医療機器等安全性情報、DI news等を用いて情報発信を行っている。緊急安全性情報、安全性速報は、当該医薬品を使用している医師に電子カルテのコミュニケーション機能、面談による文書交付にて周知を図っている。

また、薬剤部イントラネットには、薬剤部より発信した医薬品の安全使用に関わる情報の記録を、全て確認できるように掲載している。院内医薬品情報検索システム (DICS) には改訂された添付文書の情報が更新されるまで、新しい添付文書のPDFファイルを掲載している。

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況 ・ 研修の主な内容： 新しい医療機器の導入時の研修 特定機能病院における定期研修 有効性・安全性に関する事項 使用方法に関する事項 保守点検に関する事項 不具合が発生した場合の対応に関する事項 使用に関して特に法令上遵守すべき事項など	年41回
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
・ 医療機器に係る計画の策定 (有・無) ・ 機器ごとの保守点検の主な内容： 人工呼吸器 : 外観点検、性能・機能点検、メンテナンス 輸液ポンプ : 外観点検、性能・機能点検、メンテナンス シリンジポンプ : 外観点検、性能・機能点検、メンテナンス 経腸栄養ポンプ : 外観点検、性能・機能点検、メンテナンス 除細動器 : 外観点検、性能・機能点検、メンテナンス 閉鎖式保育器 : 外観点検、性能・機能点検、メンテナンス 人工心臓装置 : 外観点検、性能・機能点検、メンテナンス IABP : 外観点検、性能・機能点検、メンテナンス 経皮的補助循環装置 : 外観点検、性能・機能点検、メンテナンス フットポンプ : 外観点検、性能・機能点検、メンテナンス 体外式ペースメーカー : 外観点検、性能・機能点検、メンテナンス 補助人工心臓駆動装置 : 外観点検、性能・機能点検、メンテナンス 麻酔器 : 外観点検、性能・機能点検、メンテナンス 電気手術器 : 外観点検、性能・機能点検、メンテナンス 内視鏡 : 外観点検、性能・機能点検、メンテナンス 内視鏡装置 : 外観点検、性能・機能点検、メンテナンス 直線加速装置 : 外観点検、性能・機能点検、メンテナンス 診療用放射線照射装置 : 外観点検、性能・機能点検、メンテナンス 放射線関連装置 : 外観点検、性能・機能点検、メンテナンス CT装置 : 外観点検、性能・機能点検、メンテナンス MRI装置 : 外観点検、性能・機能点検、メンテナンス 心電計 : 外観点検、性能・機能点検、メンテナンス 脳波計 : 外観点検、性能・機能点検、メンテナンス 超音波診断装置 : 外観点検、性能・機能点検、メンテナンス AED : 外観点検、性能・機能点検、メンテナンス 血液浄化装置 : 外観点検、性能・機能点検、メンテナンス 透析液作製関連装置 : 外観点検、性能・機能点検、メンテナンス 手術支援ロボットシステム : 外観点検、性能・機能点検、メンテナンス 超音波手術器 : 外観点検、性能・機能点検、メンテナンス 歯科関連機器 : 外観点検、性能・機能点検、メンテナンス	

④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集
その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況

- ・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無)
- ・ 未承認等の医療機器の具体的な使用事例 (あれば) : 無
- ・ その他の改善のための方策の主な内容 :

日本医療機能評価機構やPMDA、製造販売企業などからの情報を収集し、医療安全管理委員会や安全管理部、リスクマネージャー会議へ報告すると共に、RMニュースとして各リスクマネージャーへメールで配信し、リスクマネージャーから所属スタッフへ周知を行っている。
機器の取扱説明書や添付文書を院内どこからでも閲覧可能なシステムを構築している。

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第9条の20の2第1項第1号から第13号の二に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	有・無
<p>・責任者の資格 (医師)・歯科医師)</p> <p>・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況</p> <p>医療安全担当の副院長は、医療安全管理部門の長を兼任し、医薬品安全管理責任者および医療機器安全管理責任者は、医療安全に関する委員会（医療安全管理委員会）の構成員であり、各委員会の報告を医療安全管理委員会において実施している。</p>	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 (10名) ・無
<p>③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況</p> <p>・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況</p> <p>① 医薬品情報資料の収集、整理、保管及び情報の加工と専門的評価</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) インターネットを利用した情報収集 2) 学術雑誌等よりの情報収集 3) 製薬会社の医薬情報担当者 (MR ; medical representatives) よりの情報収集 4) 病棟薬剤師業務担当者・薬剤管理指導業務担当者よりの情報収集 5) 資料の整理・保管・管理 6) 書籍・雑誌等の購入 <p>② 医薬品に関する情報の伝達</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 医薬品集の作製、改訂 2) 全診療科・病棟・中央診療部への定期的な情報伝達 3) 病棟薬剤師業務担当者・薬剤管理指導業務担当者への情報提供 4) 病棟薬剤師業務担当者・薬剤管理指導業務担当者との情報共有 5) 他の病院薬局への情報提供 <p>・未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況</p> <p>未承認新規医薬品に関しては、医薬品安全管理責任者が委員長を務める医薬品医療機器等安全管理専門委員会（以下、薬機専）において、未承認新規医薬品等評価委員会の意見を参考に申出の受付と使用の可否等を決定する業務を担当している。</p> <p>その他の未承認等の医薬品の使用状況については薬剤部に使用状況の把握と必要に応じた提案等の業務を行わせている他、薬機専でも把握している。</p> <p>・担当者の指名の有無 (有) ・無)</p> <p>・担当者の所属・職種：</p> <p>(所属：薬剤部、職種 副薬剤部長) (所属：安全管理部、職種 教授)</p> <p>(所属：循環器内科、職種 教授) (所属：泌尿器科、職種 教授)</p> <p>(所属：移植消化器外科、職種 教授) (所属：内分泌代謝内科、職種 教授)</p> <p>(所属：顎・口腔再生外科学、職種 教授) (所属：感染制御教育センター、職種 教授)</p> <p>(所属：小児科、職種 教授) (所属：安全管理部、職種 副部長)</p> <p>(所属：看護部、職種 看護部長) (所属：事務局、職種 事務部長)</p> <p>(所属：薬剤部、職種 副薬剤部長) (所属：ME機器センター、職種 副センター長)</p>	

④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	有 無
<p>・医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無 (有 無)</p> <p>・説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容</p> <p>説明に関する責任者は、医療安全部門の GRM が担当し、説明に関するガイドラインを作成し、診療録管理を担当する委員会である病歴委員会の委員となり、診療録の質的管理を実施する段階で、説明と同意に関する監査項目を確認し、診療部門へフィードバックする。また、説明・同意において、医師以外の職種の同席や説明記載についても推進する。</p>	
⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況	有 無
<p>・診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容：</p> <p>診療録及び退院時要約の記載内容について監査及び報告、法令に基づく診療録の管理、診療記録の提供</p>	
⑥ 医療安全管理部門の設置状況	有 無
<p>・所属職員：専従（5）名、専任（ ）名、兼任（13）名 うち医師・歯科医師：専従（1）名、専任（ ）名、兼任（5）名 うち薬剤師：専従（1）名、専任（ ）名、兼任（1）名 うち看護師：専従（2）名、専任（ ）名、兼任（2）名 （注）報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること</p> <p>・活動の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ○医療事故防止対策マニュアルの改訂 ○安全管理部部員等による院内巡視 ○インシデントレポートの分析 ○死亡事例の把握・検証 ○安全管理部カンファレンス（週1回実施） ○医療安全研修会について、e-ラーニングにおいてテストを実施し、点数によって評価している <p>※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。 ※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。</p>	
⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	
<p>・前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（2件）、及び許可件数（2件）</p> <p>・高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無 (有 無)</p> <p>・高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無 (有 無)</p> <p>・活動の主な内容：</p> <p>高難度新規医療技術評価委員会と連携し、高難度新規医療技術の導入に係る申請に対する実施の可否についての判定及び実施後のモニタリングを行っている。</p> <p>・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無 (有 無)</p> <p>・高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無 (有 無)</p>	

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

- ・前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数（89件）、及び許可件数（88件）
- ・未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（有・無）
- ・未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（有・無）
- ・活動の主な内容：
 - 医薬品医療機器等安全管理委員会が、医療安全管理委員会と連携し、次の各号に掲げる事項について審議している。
 - (1) 医薬品医療機器等の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び改定に関すること。
 - (2) 従業者に対する医薬品医療機器等の安全使用のための研修に関すること。
 - (3) 医薬品医療機器等の安全使用のための手順書に基づく業務に関すること。
 - (4) 医薬品医療機器等の安全使用のため必要となる情報の収集その他の医薬品の安全
 - (5) 本院で使用したことのない医薬品又は高度管理医療機器であって、医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律（昭和35年法律第145号）（以下「医薬品医療機器等法」という。）における承認又は認証を受けていないもの（以下「未承認新規医薬品等」という。）を用いた医療を提供する場合について、使用条件を定め、使用の適否等を決定する。
 - (6) 医薬品医療機器等法における承認又は認証を受けている医薬品又は高度管理医療機器について、本院において、承認若しくは認証と異なる使用又は禁忌に該当する使用を伴う医療を提供する場合について、使用条件を定め、使用の適否等を決定する。
- ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（有・無）
- ・未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無（有・無）

⑨ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

- ・入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 297 件
- ・上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 50 件
- ・上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容
 - 医療事故防止対策マニュアルの改訂
 - 安全管理部部員等による院内巡視
 - インシデントレポートの分析
 - 死亡事例の把握・検証
 - 安全管理部カンファレンス（週1回実施）

⑩ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

- ・他の特定機能病院等への立入り（有（病院名：熊本大学病院）・無）
- ・他の特定機能病院等からの立入り受入れ（有（病院名：佐賀大学病院）・無）
- ・技術的助言の実施状況

新型コロナウイルス感染症の動向を踏まえ、訪問調査は取りやめとなり、被訪問大学から提出された自己チェックシートの内容を紙面調査という形で実施し、特に改善を求めるといった指摘事項はなかった

<p>⑪ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況</p> <p>・体制の確保状況</p> <p>総合患者支援部に患者相談室を設置し、患者家族等からの医学的な質問、医療安全に係る相談等、様々な相談を患者相談窓口にて一元的に対応し、必要に応じて、助言、情報提供等を行いながら患者家族等を支援している。</p>

<p>⑫ 職員研修の実施状況</p> <p>・研修の内容（すべて）：</p> <p>1. 令和2年度第1回医療安全研修会</p> <p>①「医療機器の保守点検」 ME機器センター 林 誠副センター長</p> <p>②「救急カート管理薬剤の適正使用：アミオダロン投与時の注意点」 薬剤部 安藝 敬生先生</p> <p>③「インシデントレポート記載時の注意点」 安全管理部（GRM/看護師長） 後田 実知子副部長</p> <p>2. 令和2年度第2回医療安全研修会</p> <p>①「医療安全と個人情報」安全管理部長 栗原慎太郎先生</p> <p>3. 令和2年度第3回医療安全研修会</p> <p>①「輸血医療の危機管理：実施手順と製剤の取り扱いを中心に」 細胞療法部副部長 長井一浩先生</p> <p>②「医療用麻薬の取り扱いについて～インシデント事例を中心に～」 安全管理部（GRM/薬剤師） 橋詰 淳哉副部長</p>
--

(注) 前年度の実績を記載すること (⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること)

<p>⑬ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況</p> <p>・研修の実施状況</p> <p>管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者、全員が公益財団法人日本医療機能評価機構が実施する2020年度特定機能病院管理者研修を受講した。</p> <p>○受講日</p> <p>管理者（中尾 一彦）：2020年10月15日</p> <p>医療安全管理責任者（松尾 孝之）：2020年11月25日</p> <p>医薬品安全管理責任者（佐々木 均）：2020年12月16日</p> <p>医療機器安全管理責任者（栗原 慎太郎）2020年10月15日</p>
--

(注) 前年度の実績を記載すること

⑭医療機関内における事故の発生の防止に係る第三者による評価の受審状況、当該評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況、当該評価を踏まえ講じた措置の状況

・ 第三者による評価の受審状況

公益財団法人 日本医療機能評価機構、「病院機能評価：一般病院3」2018年11月

・ 評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況

審査結果報告書を病院ホームページに掲載

・ 評価を踏まえ講じた措置

診療の質向上や業務改善に継続的に取り組んでいる

(注) 記載時点の状況を記載すること

規則第7条の2の2第1項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

<p>管理者に必要な資質及び能力に関する基準</p> <ul style="list-style-type: none"> 基準の主な内容 【長崎大学病院長選考規程より抜粋】 第3条 病院長となることのできる者は、次の各号のいずれにも該当する。 (1) 医療法(昭和23年法律第205号)第10条第2項に基づき主として医業を行う病院を管理することができる者 (2) 医療の安全の確保のために必要な資質及び能力を有する者 (3) 組織管理能力等の長崎大学病院を管理運営する上で必要な資質及び能力を有する者 基準に係る内部規程の公表の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無) ・ 公表の方法 ホームページにて公表。
--

規則第7条の3第1項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
<ul style="list-style-type: none"> 選考を実施した場合、委員会の設置の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無) 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無) 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無) 公表の方法 長崎大学病院ホームページに掲載 	

管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由				
氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	特別の関係
永安 武	理事(研究・国際)	○	学長が指名する理事	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
福永 博俊	理事(総務)		学長が指名する理事	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
前村 浩二	医学部長		役職指定	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
村田比呂司	歯学部長		役職指定	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
迎 寛	副病院長(人事)		病院運営会議選出委員	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
森崎 正幸	長崎県医師会長		学外有識者	有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無
宮口 巖	長崎県歯科医師会長		学外有識者	有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無
中田 勝己	長崎県福祉保健部長		学外有識者	有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無
澤井 照光	医学部保健学科長		学長が必要と認められた者	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無

規則第9条の23第1項及び第2項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の設置及び運営状況

合議体の設置の有無	有・無
<p>・合議体の主要な審議内容</p> <p>【長崎大学病院運営会議規程より抜粋】</p> <p>第2条 運営会議は、次に掲げる事項について審議する。</p> <ol style="list-style-type: none">(1) 経営・運営方針に関する事。(2) 中期目標・中期計画に関する事。(3) 教育・研究活動に関する事。(4) 規程等の制定及び改廃に関する事。(5) 教育研究組織に関する事項(6) 予算及び決算に関する事項(7) 教員の採用及び昇任に関する事項(8) 教員の再任に関する事項(9) その他病院の管理運営に関する重要な事項 <p>・審議の概要の従業者への周知状況</p> <p>院内ホームページ（イントラネット）に、病院運営会議の議事要旨を掲載している。</p> <p>また、診療科長等会議で病院運営会議の概要報告を行うとともに、事務部においては、課内連絡会で議題内容の報告をするなどして情報共有を行っている。</p> <p>・合議体に係る内部規程の公表の有無（<input checked="" type="radio"/>有・無）</p> <p>・公表の方法</p> <p>ホームページにて公表している。</p> <p>・外部有識者からの意見聴取の有無（<input checked="" type="radio"/>有・無）</p>	

合議体の委員名簿

氏名	委員長 (○を付す)	職種	役職
中尾 一彦	○	医師	病院長
浜田 久之		医師	副学長（高大接続・入試広報担当） ／病院長補佐「教育・広報」
尾崎 誠		医師	副病院長「総務」
江口 晋		医師	副病院長「安全」
酒井 英樹		医師	副病院長「診療」
辻野 彰		医師	副病院長「経営」
迎 寛		医師	副病院長「人事」
澤瀬 隆		歯科医師	副病院長「歯科統括」
小淵 美樹子		看護師	副病院長「看護統括」
本田 秀史		事務職員	副病院長「事務統括」
山本 弘史		薬剤師	病院長補佐「研究」
泉川 公一		医師	副学長（新型コロナウイルス感染症対策担当）／病院長補佐「国際」
栗原 慎太郎		医師	病院長補佐「安全」
阿比留 教生		医師	病院長補佐「施設」

氏名	委員長 (○を付す)	職種	役職
山下 利佳		歯科医師	病院長補佐「福利厚生」
川崎 浩二		歯科医師	病院長補佐「地域連携」
松本 武浩		医師	病院長補佐「MSC・医療情報」
田浦 直太		医師	病院長補佐「病床管理・診療情報管理」
田崎 修		医師	高度救命救急センター長
福田 徹		診療放射線技師	医療技術部長
永岡 亜也子		外部有識者 (弁護士)	病院顧問 (弁護士法人ふくざき法律事務所)

規則第15条の4第1項第1号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

- ・ 管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無 (有 ・ 無)

- ・ 公表の方法
大学ホームページにて公表。

- ・ 規程の主な内容
【長崎大学病院規則より抜粋】
(病院長)

第3条 本院に、病院長を置く。
2 病院長は、病院の管理運営をつかさどり、所属職員を統括する。

- 【長崎大学会計規則より抜粋】
(予算責任者)

第10条 予算管理単位に予算責任者を置き、部局長をもって充てる。

なお、人事権について、「副病院長等の選考に関する申合せ」により、各種メディカルスタッフの選考基準が定められており、病院長が指名することとなっているが、一部、医学部で選考された講座の教授を診療科長とするなど「充て職」が存在するため、医学部と調整を行い、対応を検討する予定である。

- ・ 管理者をサポートする体制（副院長、院長補佐、企画スタッフ等）及び当該職員の役割
病院長の職務を補佐する者として副病院長を、病院長の職務のうち特定事項の職務を補佐する者として病院長補佐を置いているほか、病院長の諮問に応じ意見を具申する役割として、病院顧問を置いている。また、本院の管理運営に関し、病院長に助言等を行う者として病院長特別補佐を置くことができることとしている。

さらに、病院長の諮問機関として、運営戦略部及び外部有識者（経営戦略アドバイザー）を含む経営戦略部を設置し、多職種からなるメンバーで会議を行い、企画立案を行っている。

- ・ 病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況

(人事)

副病院長の選考は、各診療部門の診療部門長、各診療科の診療科長、各治療室の治療室長、中央診療施設の各部長（各センター長、機構長及び各室長を含む。）、薬剤部長、看護部長及び事務部長のうちから病院長が推薦し学長が選考するもの、病院長補佐の選考は、各診療部門の診療部門長、各診療科の診療科長、各治療室の治療室長、中央診療施設の各部長（各センター長、機構長及び各室長を含む。）及び薬剤部長のうちから病院長が指名するものとしている。

(研修)

全国病院長会議等が主催する分野別、職階別の各種研修会に執行部職員を積極的に参加させている。また、日本医療機能評価機構主催の特定機能病院管理者研修にも毎年対象者を参加させている。

規則第15条の4第1項第2号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する
状況

監査委員会の設置状況	(有) 無
<p>・ 監査委員会の開催状況：年2回</p> <p>・ 活動の主な内容：</p> <p>以下の活動を行っている。</p> <p>(1) 医療安全管理に関する責任者，医薬品安全管理に関する責任者，医療機器安全管理に関する責任者；安全管理部及び医療安全管理委員会が行う業務の状況について病院長から報告を求め，又は必要に応じて自ら確認を実施すること。</p> <p>(2) 必要に応じ，学長又は病院長に対し，医療に係る安全管理についての是正措置を講ずるよう意見を表明すること。</p> <p>(3) 上記に掲げる事項について，その結果を公表すること。</p> <p>・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無 (有・無)</p> <p>・ 委員名簿の公表の有無 (有・無)</p> <p>・ 委員の選定理由の公表の有無 (有・無)</p> <p>・ 監査委員会に係る内部規程の公表の有無 (有・無)</p> <p>・ 公表の方法：病院ホームページにて公表。</p>	

監査委員会の委員名簿及び選定理由 (注)

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
後 信	九州大学病院 医療安全管理 部 部長	○	医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者	有・無	1
川添 志	山下・川添総合 法律事務所 弁護士		医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者	有・無	1
飯田 由紀 子			医療を受ける者その他の医療従事者以外の者	有・無	2

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者 (1.に掲げる者を除く。)
3. その他

規則第15条の4第1項第3号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを
確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況

・体制の整備状況及び活動内容

学外の弁護士に病院顧問を委嘱し、必要に応じて、本院運営に係る法的な助言を得ている。また、病院運営会議（原則毎週開催）に学長指名の副学長及び学外者（弁護士）が構成員として出席している。さらに、役員会や経営協議会（外部委員を含む）において、病院の決算状況等の審議がなされており、毎年監事監査を受審している。

- ・ 専門部署の設置の有無（ 有 無 ）
- ・ 内部規程の整備の有無（ 有 ・ 無 ）
- ・ 内部規程の公表の有無（ 有 ・ 無 ）
- ・ 公表の方法 大学ホームページにて公表

規則第15条の4第1項第3号ロに掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に係る措置

開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況			
<ul style="list-style-type: none"> 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況 役員会及び経営協議会（病院長が理事として出席）で病院決算状況等について審議を行っていること、病院運営会議（原則毎週開催）に学長指名の副学長が構成員として出席していること、並びに、毎年、監事監査を受審していることから、業務の監督体制は整備されている。 会議体の実施状況 （令和2年度）：役員会 年14回、経営協議会 年 9回、病院運営会議 年 33回 ） 会議体への管理者の参画の有無および回数（<input checked="" type="radio"/>有・無） （令和2年度）：役員会 年 14回、経営協議会 年 9回、病院運営会議 年 33回 ） 会議体に係る内部規程の公表の有無（<input checked="" type="radio"/>有・無） 公表の方法 大学ホームページにて公表。 			
病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：			
会議体の委員名簿			
氏名	所属	委員長 (○を付す)	利害関係
			有・無
			有・無
			有・無
			有・無

(注) 会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第15条の4第1項第4号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況
<ul style="list-style-type: none">・ 情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無)・ 通報件数 (年0件)・ 窓口に提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定め (<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無)・ 窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無)・ 周知の方法 院内 HP (イントラネット) に掲載している。 院内講習会にて周知している。

(様式第 7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類 (任意)

1 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	有 無
<p>・ 情報発信の方法、内容等の概要</p> <p>地域や患者の医療機関の選択に資するため、病院ホームページで各診療科の特徴や対象とする疾患について、情報発信している。</p>	

2 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	有 無
<p>・ 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要</p> <p>○複数診療科の医師及び他職種の医療スタッフを構成員としたチーム (精神科リエゾンチーム、栄養サポートチーム、認知症ケアチーム、呼吸ケアチーム、外来緩和ケアチーム、糖尿病ケアサポートチーム、透析予防診療チーム、排尿ケアチーム) を設置し、チーム医療を実践している。</p> <p>○口腔管理センターを設置し、術後の周術期の口腔ケアだけでなく保存、補綴も含め必要な歯科治療全てを扱い、医科歯科連携医療を推進している。</p>	